

# Rational™ ClearQuest®

## Project Tracker ユーザーズ ガイド

バージョン: 2003.06.10 以降

G126-5416-00

WINDOWS 版



## 法的通知

Copyright © 1997-2003, Rational Software Corporation. All Rights Reserved.

バージョン番号: 2003.06.10

本マニュアル (「本著作物」) は、アメリカ合衆国その他の国々の著作権法及び種々の条約により保護されています。Rational Software Corporation の文書による事前の同意を得ることなく本著作物を複製し又は頒布することは、禁じられています。

本著作物はライセンスに基づいて提供されるもので、ライセンス規定に従う場合にのみ、使用または複製できます。ライセンスで明示的に許可されている場合を除き、本マニュアルまたはその複製を第三者に提供することは禁じられています。本著作物の権利または所有権を譲渡することはできません。ライセンス条項の全文については、ライセンス契約書をお読みください。

Rational Software Corporation、Rational、Rational Suite、Rational Suite ContentStudio、Rational Apex、Rational Process Workbench、Rational Rose、Rational Summit、Rational Unified process、Rational Visual Test、AnalystStudio、ClearCase、ClearCase Attache、ClearCase MultiSite、ClearDDTS、ClearGuide、ClearQuest、PerformanceStudio、PureCoverage、Purify、Quantify、Requisite、RequisitePro、RUP、SiteCheck、SiteLoad、SoDa、TestFactory、TestFoundation、TestMate、TestStudio は、Rational Software Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Rational のロゴ、Connexis、ObjecTime、Rational Developer Network、RDN、ScriptAssure、XDE は、Rational Software Corporation の米国およびその他の国における商標です。その他すべての名前は、識別の目的でのみ使用されているものであり、それぞれの会社の商標または登録商標です。

米国特許番号 5,193,180、5,335,344、5,535,329、5,574,898、5,649,200、5,675,802、5,754,760、5,835,701、6,049,666、6,126,329、6,167,534、6,206,584 の請求の範囲内の部分。このほかにも米国特許及び国際特許申請中。

## 米国政府の権利

ライセンシーは、本ソフトウェアおよびドキュメントが、DFARS 252.7202、DFARS 252.211、FAR 2.101、または FAR 52.227 (またはその改訂された規定) のもとに、商業的コンピュータ ソフトウェア、商業的資料、または制限されたコンピュータ ソフトウェアとして提供されることに同意するものとします。本ソフトウェア製品およびドキュメントの使用、複製、または開示は、DFARS 227.7202、FAR 52.227-19 の下位条項 (c)、または FAR 52.227-14 (またはその改訂された規定) に定められるように、該当する Rational Software Corporation ライセンス契約書の条項の制約を受けます。

## 免責事項

本書および関連ソフトウェアは、ライセンス契約に基づいて使用することができます。そのような使用許諾契約書に別段の明示的な規定がある場合を除き、また、それぞれの国の法律により禁止または制限されている場合を除き、Rational Software Corporation は、本メディア、ソフトウェア製品、およびその関連文書について、明示的にも暗黙的にも、商品性に関する保証、非権利侵害性に関する保証、特定目的への適合性に関する保証、取り扱い、使用、または取引行為に伴う保証、およびライセンシーによる静穏無事な製品使用に対する妨害がないことの保証について一切の責任を負いません。

### 第三者の通知、コード、使用許諾および確認

Portions Copyright © 1992-1999, Summit Software Company. All rights reserved.

Microsoft、Microsoft のロゴ、Active Accessibility、Active Client、Active Desktop、Active Directory、ActiveMovie、Active Platform、ActiveStore、ActiveSync、ActiveX、Ask Maxwell、Authenticode、AutoSum、BackOffice、BackOffice のロゴ、bCentral、BizTalk、Bookshelf、ClearType、CodeView、DataTips、Developer Studio、Direct3D、DirectAnimation、DirectDraw、DirectInput、DirectX、DirectXJ、DoubleSpace、DriveSpace、FrontPage、Funstone、Genuine Microsoft Products のロゴ、IntelliEye、IntelliEye のロゴ、IntelliMirror、IntelliSense、J/Direct、JScript、LineShare、Liquid Motion、Mapbase、MapManager、MapPoint、MapVision、Microsoft Agent のロゴ、Microsoft eMbedded Visual Tools のロゴ、Microsoft Internet Explorer のロゴ、Microsoft Office Compatible のロゴ、Microsoft Press、Microsoft Press のロゴ、Microsoft QuickBasic、MS-DOS、MSDN、NetMeeting、NetShow、Office のロゴ、Outlook、PhotoDraw、PivotChart、PivotTable、PowerPoint、QuickAssembler、QuickShelf、RelayOne、Rushmore、SharePoint、SourceSafe、TipWizard、V-Chat、VideoFlash、Visual Basic、Visual Basic のロゴ、Visual C++、Visual C#、Visual FoxPro、Visual InterDev、Visual J++、Visual SourceSafe、Visual Studio、Visual Studio のロゴ、Vizact、WebBot、WebPIP、Win32、Win32s、Win64、Windows、Windows CE のロゴ、Windows のロゴ、Windows NT、Windows Start のロゴ、XENIX は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、Ultra、AnswerBook 2、medialib、OpenBoot、Solaris、Java、Java 3D、ShowMe TV、SunForum、SunVTS、SunFDDI、StarOffice、および SunPCi は、Sun Microsystems の米国および他の国における商標または登録商標です。

Purify は、Sun Microsystems, Inc. の米国特許番号 5,404,499 の下にライセンス供与されています。

Globetrotter ソフトウェア (FLEXIm ライブラリおよびユーティリティ) の本来の用途は、ソフトウェアライセンス管理であり、他の製品またはアプリケーションにこれらのソフトウェアを組み込むことは、ライセンスに含まれません。

BasicScript は、Summit Software Company の登録商標です。

デザイン パターン: Erich Gamma、Richard Helm、Ralph Johnson および John Vlissides による再使用可能なオブジェクト指向のソフトウェアのエレメント。Copyright © 1995 by Addison-Wesley Publishing Company, Inc. All rights reserved.

Copyright © 1997 OpenLink Software, Inc. All rights reserved.

本ソフトウェアおよびドキュメントは部分的に、カリフォルニア大学理事会により使用許諾されている BSD Networking Software Release 2 に基づいています。当社はその開発におけるカリフォルニア大学バークレー校の Computer Systems Research Group および Electrical Engineering and Computer Sciences Department 並びに「その他の協力者」の役割を認めます。

本製品は、Apache ([http://www.webdav.org/mod\\_dav/](http://www.webdav.org/mod_dav/)) における使用のために Greg Stein により開発されたソフトウェアを含んでいます。

追加の法的通知は、お客様の Rational ソフトウェア インストールに含まれています。

# 目次

<b>まえがき</b> .....	<b>ix</b>
本書について .....	x
ClearQuest マニュアル ロードマップ .....	xi
ClearQuest とほかの Rational 製品との統合 .....	xii
表記規則 .....	xiii
オンライン マニュアル .....	xiv
カスタマ サポート .....	xiv
 <b>1 Project Tracker の概要</b> .....	<b>1</b>
Rational ClearQuest Project Tracker とは .....	1
閉ループ型プロジェクト追跡システムの構築 .....	2
Project Tracker の機能 .....	3
プロジェクト計画とデータベースのリンク .....	3
ClearQuest レコードをインポートして Microsoft Project の新規タスクを作成する .....	3
Microsoft Project のタスクをエクスポートして ClearQuest レコードを作成する .....	3
プロジェクト計画と ClearQuest データベースの更新と同期 .....	4
RUP プロジェクト計画の使用法 .....	5
シナリオ 1: 新規プロジェクト計画から始める .....	6
シナリオ 2: プロジェクト計画を既存の ClearQuest データベースと統合する .....	8
チーム メンバーが ClearQuest データベースにレコードを作成する方法 .....	9
 <b>2 プロジェクト計画と ClearQuest データベースのリンク</b> .....	<b>11</b>
ClearQuest データベースの選択 .....	11
ClearQuest データを保存するフィールドの選択 .....	12
ClearQuest 関連のデータを表示するための Microsoft Project 2000 ビューの設定 .....	13
ClearQuest レコード タイプの更新 .....	14
 <b>3 ClearQuest からのレコードのインポート</b> .....	<b>15</b>
Microsoft Project 2000 から Rational ClearQuest Project Tracker へのアクセス .....	15
ClearQuest データベースからのレコードのインポート .....	16
リソースと ClearQuest ユーザーとの一致 .....	18
ログ ファイルの保存と表示 .....	19

Microsoft Project 計画の新規タスクの表示 .....	20
インポートのためのクエリーの作成と使用 .....	21
プロジェクト計画のマスター コピーの保存 .....	22
<b>4 Microsoft Project 2000 からのタスクのエクスポート .....</b>	<b>23</b>
CQ レコード タイプと必須フィールド .....	23
プロジェクト計画からタスクをエクスポートして ClearQuest レコードを作成する .....	24
プロジェクト計画のマスター コピーの保存 .....	28
ClearQuest データベースの新規レコードの表示 .....	28
エクスポートに関する追加情報 .....	29
リソースの割り当て .....	29
エクスポートされないサマリ タスクとマイルストーン .....	29
所有者によるフィールド値の変更 .....	29
タスクにエントリがないときの必須フィールドへの入力 .....	30
<b>5 更新と同期 .....</b>	<b>31</b>
同期と更新の相違点 .....	31
ClearQuest レコードに基づくリンク済みプロジェクト計画タスクの更新 .....	32
プロジェクト計画とデータベースの同期 .....	34
ClearQuest とプロジェクト計画の変更 .....	35
リンクされているタスクとレコードの同期 .....	35
リソースと CQ ユーザーとの一致 .....	36
ログ ファイルの保存と表示 .....	38
情報の競合を解決するルール .....	38
同期ルールの無効化 .....	39
<b>6 その他の管理手順 .....</b>	<b>41</b>
複数機能の使用による最新情報の確保 .....	41
リンクされているタスクとレコードのみへの更新と同期の適用 .....	41
プロジェクト計画を更新するためのインポートと更新 .....	41
ClearQuest データベースを更新するためのエクスポートと同期 .....	42
ClearQuest レコード タイプ リストの更新 .....	42
タスクとレコードの削除 .....	43
プロジェクト計画からのタスクの削除 .....	43
ClearQuest データベースからのレコードの削除 .....	43

その他の考慮事項.....	44
ClearQuest の必須フィールドの変更 .....	44
プロジェクト計画のネストの回避 .....	44
タスク名を ClearQuest の [見出し] フィールドに転送するときの文字の切り捨て....	44
ClearQuest データベースからの所有者の削除 .....	45
ClearQuest レコードからの Actual End Date の削除 .....	45
<b>A Project Tracker の設定と構成.....</b>	<b>47</b>
前提条件.....	47
プラットフォームの依存関係 .....	48
プロジェクトの ClearQuest データベース スキーマの更新 .....	48
ClearQuest パッケージとは .....	48
Regsvr32 CQMSPInt.dll の実行 .....	49
<b>B RUP プロジェクト計画の使用法.....</b>	<b>51</b>
<b>索引.....</b>	<b>53</b>



# まえがき

Rational™ ClearQuest® Project Tracker は、Microsoft Project 2000 プロジェクト管理アプリケーションと Rational の ClearQuest 変更管理システムの間での情報のやり取りを可能にします。また、包括的な閉ループ型プロジェクト追跡システムを構築して、Microsoft Project 2000 のプロジェクト管理機能と Rational ClearQuest の変更管理機能を最大限に活用することを容易にします。

Project Tracker を使用すれば、個々のスタッフが現在どのような作業をしているかについての ClearQuest の情報にプロジェクトの管理者が簡単にアクセスできます。プロジェクトの管理者は、その情報を Microsoft Project 2000 に入力し、入手可能な最新の情報で正確にプロジェクト計画を更新できます。

Project Tracker を使用すれば、新規のプロジェクト計画または更新されたプロジェクト計画による情報を ClearQuest に転送し、個々のスタッフとチームの管理者に提供できます。スタッフは、最新のプロジェクト計画の日程に基づいて優先度とスケジュールを調整できます。

この閉ループ型プロジェクト追跡システムを構築することで、個々のスタッフは計画に注意を向けることができ、プロジェクトの管理者は進行状況について正確な情報を得ることができます。結果として、Project Tracker によって、作業時間が短縮され、無駄な労力を削減されて、スケジュールどおりにプロジェクトを遂行することが容易になります。

本書では、Rational Unified Process (RUP) に基づいて Microsoft Project のプロジェクト計画を使用する方法についても説明します。システムで Rational Unified Process を使用できる場合は、[Rational Unified Process] メニューの [テンプレート] をクリックし、[Microsoft Project] をクリックすることで、RUP プロジェクト計画にアクセスできます。これらの計画は Rational によって開発された最善の実践方法を強化します。

## 本書について

---

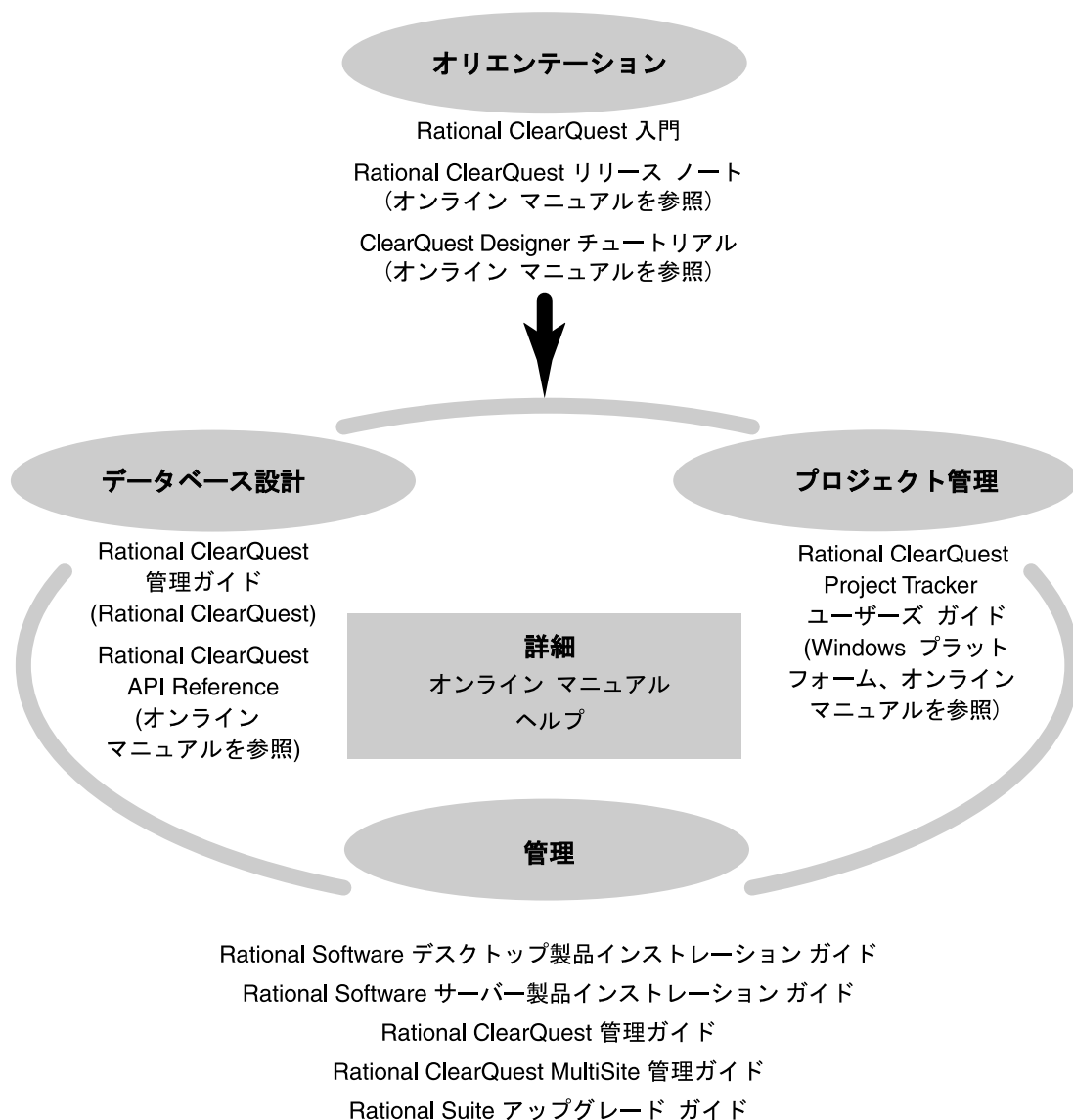
本書は、変更依頼管理に Rational ClearQuest を使用し、プロジェクト管理に Microsoft Project 2000 を使用する (または使用する計画がある) 組織の、プロジェクトの管理者とスタッフを対象にしています。

「付録 A Project Tracker の設定と構成」では、システム管理者を対象に Project Tracker の設定と構成を行う方法について説明します。この付録には、Project Tracker のシステム要件も記載されています。

「付録 B RUP プロジェクト計画の使用法」では、オプションの RUP プロジェクト計画へのアクセス方法と、その RUP プロジェクト計画の Project Tracker への適用方法について説明しています。

# ClearQuest マニュアル ロードマップ

---



## ClearQuest とほかの Rational 製品との統合

統合	説明	説明が記載されている場所
ClearQuest - ベース ClearCase®	変更依頼を ClearCase エlement のバージョンに関連付けます。	『Rational ClearCase ソフトウェア開発ガイド』 『Rational ClearCase プロジェクト管理ガイド』 『Rational ClearQuest 管理ガイド』
ClearQuest - PurifyPlus	開発者が、PurifyPlus から ClearQuest を呼び出せるようにします。	PurifyPlus のヘルプ 『Rational ClearQuest 管理ガイド』
ClearQuest - RequisitePro	開発者が、RequisitePro から ClearQuest を呼び出して、要求を ClearQuest 変更依頼に関連付けることができるようにします。	『Rational Suite® 管理ガイド』 『Rational ClearQuest 管理ガイド』
ClearQuest - SoDA	ClearQuest から情報を収集して、その情報をさまざまなレポート形式で表示します。	『Using Rational SoDA for Word』 『Using Rational SoDA for Frame』 SoDA のヘルプ
ClearQuest - Test Manager	開発者が、TestManager から ClearQuest を呼び出せるようにします。	『Using Rational TestManager』 『Rational ClearQuest 管理ガイド』
ClearQuest - Robot	開発者が、Robot から ClearQuest を呼び出せるようにします。	『Rational Robot User's Guide』 Rational Robot のヘルプ
ClearQuest - UCM	UCM アクティビティを ClearQuest レコードにリンクします。	『Rational ClearCase ソフトウェア開発ガイド』 『Rational ClearCase プロジェクト管理ガイド』 『Rational ClearQuest 管理ガイド』

## 表記規則

---

本書の表記規則は次のとおりです。

- `ccase-home-dir` は、ClearCase 製品ファミリーがインストールされているディレクトリを表します。デフォルトのインストール ディレクトリは、UNIX では `/opt/rational/clearcase`、Windows では `C:\Program Files\Rational\ClearCase` です。
- `cquest-home-dir` は、Rational ClearQuest がインストールされているディレクトリを表します。デフォルトのインストール ディレクトリは、UNIX では `/opt/rational/clearquest`、Windows では `C:\Program Files\Rational\ClearQuest` です。
- **太字**は、コマンド名やブランチ名など、ユーザーが入力可能な名前に使用します。
- sans serif フォントは、ファイル名、ディレクトリ名、ファイル拡張子に使用します。
- メニュー名やチェック ボックス名のような、GUI 要素は、`[]` で囲んで表記します。
- 等幅フォントは、例に使用します。ユーザー入力とプログラム出力を区別する必要がある場合、ユーザー入力には**太字**を使用します。
- 出力されない文字は、`<EOF>`、`<NL>` のように表示します。
- キー名やキーの組み合わせは、大文字で `SHIFT`、`CTRL+G` のように表示します。
- `[]` 大カッコは、書式や構文の記述でオプション項目を囲むために使用します。
- `{ }` 中カッコは、書式や構文の記述で選択項目のリストを囲むために使用します。
- `|` 縦棒は、選択項目のリストを区切るために使用します。
- ... 構文記述内の省略記号は、省略記号に先行する項目や行を 1 回以上繰り返せることを示します。それ以外の省略記号は、情報の省略を示します。

**メモ:** あるコンテキストでは、`"*` や `"?"` と同様に、`"..."` をパス名内でワイルドカードとして使用することができます。詳細については、`wildcards_ccase` のリファレンス ページを参照してください。

- コマンド名またはオプション名に省略形がある場合、`"中点" (·)` は最短の有効な省略形を示します。たとえば次のような機能があります。

`lsc:heckout`

## オンライン マニュアル

---

Rational ClearQuest には、次のオンライン マニュアルが含まれています。

**ヘルプ システム:** [ヘルプ] メニュー、[ヘルプ] ボタン、[F1] キーを使用します。

**リファレンス ページ:** Windows 上で、Rational ClearQuest MultiSite のリファレンス ページを表示するには、コマンド プロンプトで「multiutil man command-name」と入力します。

**API リファレンス:** [スタート]、[プログラム]、[Rational Software]、[Rational ClearQuest] をポイントし、[ClearQuest API リファレンス] をクリックします。

**チュートリアル:** [スタート]、[プログラム]、[Rational Software]、[Rational ClearQuest] をポイントし、[ClearQuest Designer チュートリアル] をクリックします。

**PDF マニュアル:** 次のディレクトリに移動します。

- UNIX の場合は、cquest-home-dir/doc/books
- Windows の場合は、cquest-home-dir¥doc¥books

## カスタマ サポート

---

ソフトウェアやマニュアルの問題については、電話、ファックス、または電子メールで以下の Rational カスタマ サポートまでお問い合わせください。サポートの時間帯、対応言語、その他のサポート情報については、日本ラショナル ソフトウェア社の Web サイトのサポート情報 (<http://www.rational.co.jp/supports/>) を参照してください。

地域	電話	Fax	電子メール
アジア太平洋 (日本を含む)	+61-2-9419-0111	+61-2-9419-0123	support@apac.rational.com (英語のみ対応) support@japan.rational.com (日本語対応可)

# Project Tracker の概要

# 1

この章では、Rational ClearQuest Project Tracker の概要を説明します。ここでは、Project Tracker の利点の概要と製品機能について説明します。また、このソフトウェアを使用して、プロジェクト マネージャーとプロジェクトに携わる各スタッフやチーム マネージャーとの間で情報をやり取りする例のシナリオを 2 つ紹介します。

## Rational ClearQuest Project Tracker とは

---

Rational ClearQuest Project Tracker は、Microsoft Project 2000 のアドインです。このソフトウェア モジュールを使用すると、Microsoft Project 2000 に Rational ClearQuest の機能を追加することができます。

Project Tracker では、Microsoft Project 2000 のプロジェクト計画からタスクをエクスポートして、Rational ClearQuest に新しいデータベース レコードを自動的に作成できます。タスクは、これらの新しいデータベース レコードに自動的にリンクされます。これにより、プロジェクトの対応するタスクとレコードを後で同期し、一方のシステムで行われた変更を他方のシステムに自動的に反映することができます。

また、Rational ClearQuest からレコードをインポートして、Microsoft Project 2000 に新しいプロジェクト計画タスクを作成することもできます。これらのレコードとタスクもリンクされ、同期を定期的に継続できます。この方法では Rational ClearQuest でレポートされた進行状況を Microsoft Project 2000 に自動的に転送できるため、プロジェクト マネージャーは常にプロジェクト計画を最も正確かつ最新の情報で更新できます。

## 閉ループ型プロジェクト追跡システムの構築

Project Tracker を使用すると、プロジェクト管理システムと変更管理システムの両方を最大限に活用して、閉ループ型プロジェクト追跡システムを構築できます。

プロジェクト マネージャーは、プロジェクト管理ツール Microsoft Project 2000 を使用して、ハイレベルなプロジェクト計画を作成できます。計画では、プロジェクトを構成する主なタスクを指定します。また、タスク、タスクの開始予定日と完了予定日、その他の計画データの間の依存関係も示します。タスクが完了したり、リソースが追加または失われたり、その他の要素に変更があった場合、プロジェクト マネージャーは計画を更新できます。

Rational ClearQuest のような変更管理システムを使用すると、マネージャーと各スタッフの双方が、プロジェクトの新規変更依頼を入力できます。変更依頼には、拡張依頼、障害、ドキュメントも含まれます。マネージャーと各スタッフは、既存の変更依頼を修正またはクローズしたり、情報を互いに共有できます。また、クエリーとレポートを作成して、個々の変更依頼を追跡したり、プロジェクト全体の進行状況を追跡できます。

ただし、プロジェクト管理ツールと変更依頼システムを併用するのは、非常に難しくなることもあります。通常の条件では、対応するタスクとレコードを同期して最新の状態に保つには膨大な量の作業が必要になります。

たとえば、プロジェクトの進行中にプロジェクト マネージャーがプロジェクト計画を更新する場合、プロジェクト マネージャーは多くのスタッフが別々に変更管理システムに入力したすべての変更依頼 (新規分と修正分) を把握する必要があります。

プロジェクト計画を最新の状態に保つには、多くのスタッフから情報を取得する必要があります。Project Tracker を使用すると、対応するタスクとレコードの同期を簡単に維持できます。

プロジェクト マネージャーは必要なすべての情報を収集したら、プロジェクト管理ツールにそのデータを新規または修正されたタスクとして手動で再入力する必要があります。この処理は時間がかかり、間違いが発生しやすいだけでなく、すべての情報を収集して入力した時点で情報が最新ではなくなっている可能性があります。

Project Tracker を使用すると、Microsoft Project 2000 と ClearQuest 変更管理システムの間で情報の統合作業の大部分を自動化できます。これにより、プロジェクト マネージャーの作業時間を短縮し、チーム メンバー全員が正確かつ最新の情報と計画に基づいて作業することが可能になります。

こうしてできあがるのが、閉ループ型プロジェクト追跡システムです。このタイプのプロジェクト追跡システムでは、プロジェクトに携わる各スタッフとマネージャーからの実際の結果や入力などがプロジェクト計画に入力され、プロジェクト計画の変更が各スタッフに返されます。

# Project Tracker の機能

---

Project Tracker には、Microsoft Project 2000 で作成されたプロジェクト計画と Rational ClearQuest で作成されたプロジェクト データベースの統合を自動化する多くの機能が備わっています。

## プロジェクト計画とデータベースのリンク

初めて Microsoft Project 2000 のプロジェクト計画を Project Tracker と連携するように設定する場合は、プロジェクト計画とそれに対応する ClearQuest データベースを関連付けます。関連付けるデータベースは、このプロジェクトと同じプロジェクトに関連する既存のデータベースか、このプロジェクトのために新しく作成したデータベースです。リンクによって、常に同じデータベースに対して、インポート、エクスポート、更新、同期が実行されるようになります。リンクの詳細については、「第 2 章 プロジェクト計画と ClearQuest データベースのリンク」を参照してください。

## ClearQuest レコードをインポートして Microsoft Project の新規タスクを作成する

Microsoft Project 2000 では、タスクはプロジェクト計画の基本要素です。同様に、Rational ClearQuest データベースの各レコードも、プロジェクトに必要なアクティビティです。1 つのプロジェクトのアクティビティの計画や追跡に Microsoft Project 2000 と Rational ClearQuest の両方を使用する場合、通常は各プロジェクト計画タスクが Rational ClearQuest データベースの 1 つのレコードに対応します。

Project Tracker では、[ClearQuest からの新規レコードのインポート] 機能を使用して、ClearQuest データベースのレコードからプロジェクト計画の新規タスクを作成できます。新しく作成したタスクのフィールドは、ClearQuest レコードに基づいて初期化されます。レコードとタスクは自動的にリンクされるため、一方で変更を行うと、プロジェクト計画と ClearQuest データベースが同期されたときに他方に反映されます。インポートの詳細については、「第 3 章 ClearQuest からのレコードのインポート」を参照してください。

## Microsoft Project のタスクをエクスポートして ClearQuest レコードを作成する

Project Tracker では、[ClearQuest に新規タスクをエクスポート] 機能を使用して、プロジェクト計画タスクを選択し、そのタスクを基に ClearQuest データベースの新規レコードを作成できます。新しく作成した ClearQuest レコードのフィールドは、プロジェクト計画タスクに基づいて初期化されます。タスクとレコードは自動的にリンクされるため、一方で変更を行うと、プロジェクト計画と ClearQuest データベースが同期されたときに他方に反映されます。

[インポート] 機能を使用して、ClearQuest のレコードからプロジェクト計画の新規タスクを作成します。[エクスポート] 機能を使用して、プロジェクト計画タスクから ClearQuest の新規レコードを作成します。

ただし、Project Tracker で ClearQuest データベースの新規レコードが作成されるのは、プロジェクト計画の非サマリ タスクに対してのみです。サマリ タスクとは、一連の特定作業手順の全体説明を表すタスクです。通常は、対応する ClearQuest データベース レコードはありません。同様に、Project Tracker ではマイルストーンに対するデータベース レコードは作成されません。マイルストーンは、プロジェクトのフェーズの完了を示すものの、それ自体でタスクを表すわけではないためです。

エクスポートの詳細については、「第 4 章 Microsoft Project 2000 からのタスクのエクスポート」を参照してください。

## プロジェクト計画と ClearQuest データベースの更新と同期

プロジェクトの進行に伴い、プロジェクト マネージャーがプロジェクト計画に変更を加えたり、チーム マネージャーやスタッフが Rational ClearQuest データベースに変更を加えたりすることがあります。Project Tracker には更新機能と同期機能が備わっているので、ClearQuest データベース レコードに加えられた変更はリンクされているプロジェクト タスクに反映され、プロジェクト タスクに加えられた変更はリンクされている ClearQuest データベース レコードに反映されます。

[更新] 機能を使用して、ClearQuest のプロジェクト計画タスクを更新します。[同期] 機能を使用して、リンクされているレコードとタスクの間で双方向に情報を転送します。

Project Tracker では、ClearQuest データベースのレコードの情報を、リンクされているプロジェクト計画タスクにコピーすることによって、プロジェクト計画を更新できます。これにより、プロジェクトに携わる各スタッフとマネージャーが ClearQuest に入力した情報が転送されて、プロジェクト計画が最新の状態に保たれます。

前に説明した [インポート] 機能では ClearQuest の新規レコードを使用して Microsoft Project の新規タスクを作成します。これとは対照的に、[更新] 機能では既にリンクされている既存のレコードとタスクを操作します。

プロジェクト計画とデータベースを同期することもできます。これにより、二方向の情報の流れが発生します (更新処理では一方向の転送が使用されます)。

情報は、まず、ClearQuest データベースのレコードから、リンクされているプロジェクト計画タスクにコピーされます。次に、情報は、プロジェクト計画タスクから、リンクされている ClearQuest データベース レコードにコピーされます。

最後に、プロジェクト計画と ClearQuest データベースが同期され、リンクされているタスクとレコードに同じ情報が含まれます。プロジェクト マネージャーが各スタッフからの最新情報を得られるだけでなく、スタッフも最新のプロジェクト計画の最新データを得られます。

前に説明した [エクスポート] 機能では **Microsoft Project** の新規タスクを使用して **ClearQuest** の新規レコードを作成します。これとは対照的に、[同期] 機能では既にリンクされている既存のタスクとレコードを操作します。

同期処理中に、一連のルールによって潜在的な不一致や競合が解決されます。たとえば、開始予定日と完了予定日は **Microsoft Project** のタスクのエントリを優先して解決されます。これは、通常、プロジェクト計画を作成しているプロジェクト マネージャーが予定日を管理しているためです。

一方、実際の開始日と完了日は **ClearQuest** レコードのエントリを優先して解決されます。正確な実際の日付はその作業を実行した各スタッフによって **ClearQuest** データベースに入力されるためです。

また、ログ ファイルが作成されるので、更新された情報を追跡したり、必要に応じて変更を取り消すことができます。

更新処理と同期処理については、「第 5 章 更新と同期」を参照してください。

## RUP プロジェクト計画の使用法

Rational Unified Process® (RUP™) は、ソフトウェア開発プロジェクトにおける最善の実践方法を提供します。RUP によって、最善の実践方法に従ってタスクを編成する **Microsoft Project** 計画セットが使用可能になります。

これらの計画をベースにして、RUP を強化するプロジェクト計画の作成やカスタマイズを行うことができます。プロジェクト計画が完成したら、**Project Tracker** を使用して、プロジェクト計画のタスクに対応する **ClearQuest** データベースのレコードを作成できます。

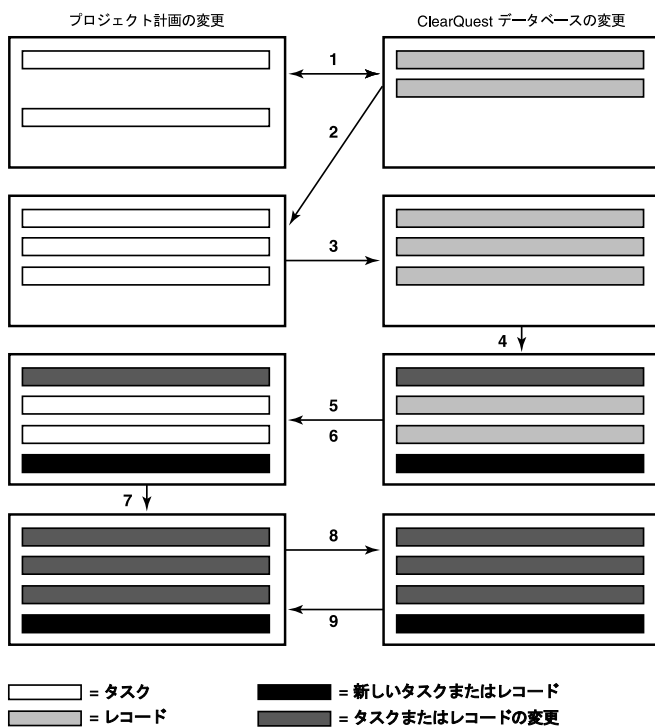
システムで **Rational Unified Process** が使用可能な場合、RUP プロジェクト計画にアクセスするには、[Rational Unified Process] メニューの [テンプレート] をポイントし、[Microsoft Project] をクリックします。RUP プロジェクト計画については、「付録 B RUP プロジェクト計画の使用法」を参照してください。

## シナリオ 1: 新規プロジェクト計画から始める

Project Tracker を使用する 1 つのシナリオは、新規プロジェクトを開始する場合です。プロジェクト マネージャーは **Microsoft Project** で新規プロジェクト計画を作成し、その計画を使用して **ClearQuest** の新規データベースを作成します。進行と共にデータベースに加えられた変更はプロジェクト計画に転送され、プロジェクト計画に加えられた変更はデータベースに転送されます。

このシナリオで説明する Project Tracker のすべての機能は、**Microsoft Project 2000** の [ツール] メニューの [ClearQuest] にあります。

ステップ 1: 次の図に示すように、プロジェクト マネージャーが詳細なプロジェクト計画を作成して、プロジェクトで計画されるタスクを記述します。



ステップ 2: ClearQuest 管理者が ClearQuest の新規データベースを作成し、プロジェクト マネージャーまたは ClearQuest 管理者が Microsoft Project の [ツール] メニューの [ClearQuest] の機能を使用して、このデータベースを新規プロジェクト計画とリンクさせます。

ステップ 3: プロジェクト マネージャーが [ClearQuest に新規タスクをエクスポート] 機能を使用して、プロジェクト計画タスクからデータベース レコードを作成します。これにより、各プロジェクト タスクと各データベース レコードの間のリンクも作成されます。

ステップ 4: チーム マネージャーと各スタッフが ClearQuest データベースのレコードを修正して実際の作業の進行状況を記録し、以前に計画していなかった作業を追跡できるように新規レコードを追加します。

ステップ 5: プロジェクト マネージャーが [ClearQuest からの新規レコードのインポート] 機能を使用して、データベースに追加された ClearQuest レコードから新規タスクを自動的に作成します。

ステップ 6: プロジェクト マネージャーが [ClearQuest からの計画の更新] 機能を使用して、ClearQuest データベースの変更されたレコードを基に既存のプロジェクト計画タスクを更新します。

ステップ 7: プロジェクト マネージャーが新規タスクを追加し、プロジェクト計画の既存のタスクを修正します。

ステップ 8: プロジェクト マネージャーが [ClearQuest に新規タスクをエクスポート] を使用して、プロジェクト計画に追加された新規タスクから ClearQuest の新規レコードを自動的に作成します。

ステップ 9: プロジェクト マネージャーが [ClearQuest との計画の同期] 機能を使用して、プロジェクト計画で変更されたタスクを基に、既存の ClearQuest データベース レコードを自動的に更新します。

このシナリオで説明した Project Tracker のすべての機能は、Microsoft Project 2000 の [ツール] メニューの [ClearQuest] にあります。

## シナリオ 2: プロジェクト計画を既存の ClearQuest データベースと統合する

---

Project Tracker を使用するもう 1 つの一般的なシナリオは、1 つのプロジェクトに対してプロジェクト計画と Rational ClearQuest データベースが個別に作成されていて、プロジェクト タスクと ClearQuest データベース レコードをリンクする必要がある場合です。

プロジェクト マネージャーは、ClearQuest データベース レコードをインポートして新規プロジェクト計画タスクを作成し、Microsoft Project のプロジェクト計画タスクをエクスポートして新規データベース レコードを作成します。進行と共にデータベースに加えられた変更はプロジェクト計画に転送され、プロジェクト計画に加えられた変更はデータベースに転送されます。このシナリオで説明する Rational ClearQuest Project Tracker のすべての機能は、Microsoft Project 2000 の [ツール] メニューの [ClearQuest] にあります。

ステップ 1: プロジェクト マネージャー (または ClearQuest 管理者) が [ClearQuest データベースにリンク] 機能を使用して、プロジェクト計画を既存の ClearQuest データベースにリンクさせます。

この機能は、一般に 1 回限りの手順であり、新規プロジェクト計画が作成されるときにのみ適用されます。プロジェクト計画が ClearQuest データベースにリンクされると、この関連付けは不変となり、ClearQuest データベースに問題が発生しない限り、解除されません。ClearQuest データベースに障害が発生した場合は、必ず ClearQuest 管理者に連絡してください。

ステップ 2: プロジェクト マネージャーが [ClearQuest からの新規レコードのインポート] 機能を使用して、既存の ClearQuest データベース レコードからプロジェクト計画の新規タスクを作成します。

ステップ 3: プロジェクト マネージャーが [ClearQuest に新規タスクをエクスポート] 機能を使用して、既存のプロジェクト計画タスクから新規 ClearQuest データベース レコードを作成します。ここで、プロジェクト計画のすべてのタスク (サマリ タスクとマイルストーンは除きます) は、ClearQuest データベースの対応するレコードにリンクされます。

ステップ 4: チーム マネージャーと各スタッフが ClearQuest データベースのレコードを修正して実際の作業の進行状況を記録し、以前に計画していなかった作業を追跡できるように新規レコードを追加します。

ステップ 5: プロジェクト マネージャーが [ClearQuest からの新規レコードのインポート] 機能を使用して、データベースに追加された ClearQuest レコードから新規タスクを自動的に作成します。

ステップ 6: プロジェクト マネージャーが [ClearQuest からの計画の更新] 機能を使用して、ClearQuest データベースの変更されたレコードを基に既存のプロジェクト計画タスクを更新します。

ステップ 7: プロジェクト マネージャーが新規タスクを追加し、プロジェクト計画の既存のタスクを修正します。

ステップ 8: プロジェクト マネージャーが [ClearQuest に新規タスクをエクスポート] を使用して、プロジェクト計画に追加された新規タスクから ClearQuest の新規レコードを自動的に作成します。

ステップ 9: プロジェクト マネージャーが [ClearQuest との計画の同期] 機能を使用して、プロジェクト計画で変更されたタスクを基に、既存の ClearQuest データベース レコードを自動的に更新します。

シナリオ 1 と同様に、プロジェクトの進行に伴い、ステップ 4 ～ 9 を繰り返します。

## チーム メンバーが ClearQuest データベースにレコードを作成する方法

Microsoft Project 2000 と Rational ClearQuest の間で情報がやり取りされる方法について理解するには、各スタッフとマネージャーによって ClearQuest データベースにレコードが作成される方法を知ることが役に立ちます。ClearQuest を使い慣れている場合は、「第 2 章 プロジェクト計画と ClearQuest データベースのリンク」に進んでください。

チーム メンバーは、ClearQuest によって生成されたフォームにデータを入力してレコードを作成します。作成したレコードは、ClearQuest データベースに格納されます。フォームはタブとフィールドで構成されます。タブとフィールドは追跡するアクティビティのタイプによって異なります。

次に示す [メイン] タブと [スケジュール] タブは、Project Tracker に情報を登録するために使用する 2 つの ClearQuest フォームの例です。

The screenshot displays the 'Main' tab of a ClearQuest form. At the top, there are tabs for 'メイン' (Main), '添付' (Attachments), '顧客' (Customers), '全般' (General), and 'スケジュール' (Schedule). The 'メイン' tab is active. The form contains the following fields:

- ID:** A text field containing 'SAMPLE00000044'.
- 状態 (S):** A dropdown menu showing 'Submitted'.
- 見出し (H):** A text field.
- プロジェクト (P):** A dropdown menu.
- 重要度 (S):** A dropdown menu.
- 優先度 (P):** A dropdown menu.
- 所有者 (O):** A dropdown menu.
- キーワード (K):** A text field with a search icon.
- 現象 (Y):** A text field with a search icon.
- 説明 (D):** A large text area for the description.

これらのフォームは **ClearQuest** 管理者が環境に合わせてカスタマイズできます。ユーザーの組織の **ClearQuest** システムで使用されるフォームは、これらの例とは異なる場合があります。たとえば、フィールドが異なっていたり、フィールド上やタブ上の名前が異なっていたりします。

[メイン] タブには、[見出し] フィールド、[説明] フィールド、[所有者] フィールドがあります。[スケジュール] タブは、2 つのセクションに分かれ、予定の日付と実際の日付のフィールドがあります。

[スケジュール] タブの [計画] セクションは、ほとんどが読み取り専用フィールドです。それらのフィールドには、プロジェクト計画から入力されたスケジュール データが表示されます。[実際の結果] セクションには、チーム メンバーが **ClearQuest** を使用して入力または更新したデータが表示されます。

プロジェクト マネージャーが **ClearQuest** からレコードをインポートして新規タスクを作成すると、レコードの [メイン] タブと [スケジュール] タブの [実際の結果] セクションに入力された情報が、プロジェクト計画にコピーされます。

プロジェクト マネージャーがタスクをエクスポートして **ClearQuest** に新規レコードを作成すると、情報がレコードの [メイン] タブと [スケジュール] タブの [Planning] セクションにコピーされます。インポート処理とエクスポート処理については、「第 3 章 **ClearQuest** からのレコードのインポート」と「第 4 章 **Microsoft Project 2000** からのタスクのエクスポート」を参照してください。

**ClearQuest** でも、レコードごとに固有の識別 (ID) 番号が割り当てられます。固有の ID 番号の割り当ては、**Project Tracker** を使用して **ClearQuest** のレコードまたは **Microsoft Project 2000** のタスクが作成される際に行われます。この ID は、**ClearQuest** のレコードと、それに関連付けられたプロジェクト計画タスクをリンクするために使用されます。これは、プロジェクト マネージャーが更新処理または同期処理を行った際に、そのレコードとタスクの間での情報のやり取りが継続されるようにするためです。更新処理と同期処理については、「第 5 章 更新と同期」を参照してください。

# プロジェクト計画と ClearQuest データベースの リンク

# 2

この章では、Microsoft Project の計画を Rational ClearQuest データベースとリンクして、それらの間で情報をやり取りする方法について説明します。

この処理は、プロジェクト計画と ClearQuest データベースの間で初めて情報をやり取りするときのみ行います。リンク確立後は、Rational ClearQuest Project Tracker によりリンクされたプロジェクト計画と ClearQuest データベースの間で情報をやり取りできます。

1 つのプロジェクト計画は、1 つの ClearQuest データベースにのみリンクできます。リンク確立後は、削除できません。

Project Tracker を使用する前に、ClearQuest 管理者はいくつかのインストール手順を実行する必要があります。これらの手順については、「付録 A Project Tracker の設定と構成」を参照してください。

この処理を初めて行うときは、ClearQuest 管理者と協力して、前提条件が満たされており、すべてが正常に動作していることを確認してください。

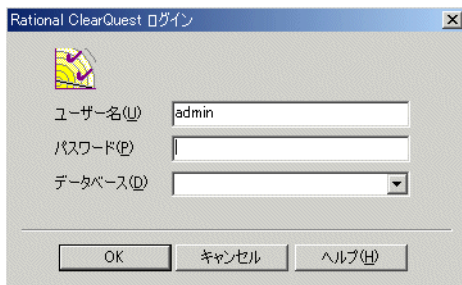
## ClearQuest データベースの選択

---

Microsoft Project 2000 のプロジェクト計画を ClearQuest データベースにリンクさせる最初の手順では、プロジェクト計画を開き、正しいデータベースを選択します。

ClearQuest データベースを選択するには

- 1 Microsoft Project のプロジェクト計画を開きます。
- 2 [ツール] メニューの [ClearQuest] をポイントし、[ClearQuest データベースにリンク] をクリックします。[Rational ClearQuest ログイン] ウィンドウが表示されます。
- 3 ユーザー名、パスワード、ClearQuest データベース名を入力して適切な ClearQuest データベースにログインし、[OK] をクリックします。これにより、プロジェクト計画に関連付ける ClearQuest データベースが指定されます。

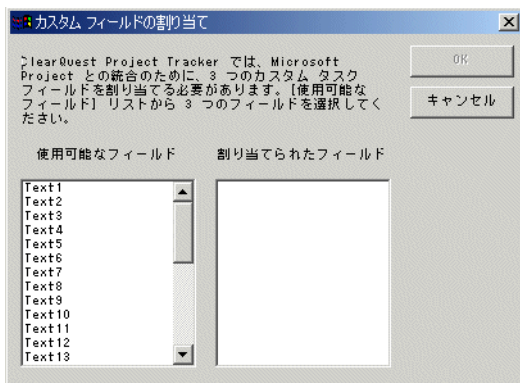


## ClearQuest データを保存するフィールドの選択

ClearQuest データベースを選択すると、[カスタム フィールドの割り当て] ウィンドウが自動的に表示されます。このウィンドウでは、ClearQuest 関連のデータの保存に使用する Microsoft Project 2000 のフィールドを指定できます。

Microsoft Project 2000 では、ユーザーやツール製造元がアプリケーションの機能を拡張できるように、追加のフィールドがいくつか事前定義されています。これらのフィールドには、テキスト 1、テキスト 2 などのラベルが付いています。これらのフィールドから 3 つ選択して、Project Tracker で使用します。ClearQuest 以外と Microsoft Project の統合で使用しているフィールドを除き、3 つ選択します。

[カスタム フィールドの割り当て] ウィンドウで、プロジェクト計画フィールドを選択して、ClearQuest 関連のデータを保存します。これには、3 つの未使用フィールドをクリックし、[OK] をクリックします。



# ClearQuest 関連のデータを表示するための Microsoft Project 2000 ビューの設定

ClearQuest 関連のデータを保存する Microsoft Project フィールドを選択すると、Microsoft Project 2000 ビューに列を追加するよう要求されます。これは、Microsoft Project の標準操作です。詳細については、Microsoft Project 2000 のオンライン ヘルプを参照してください。

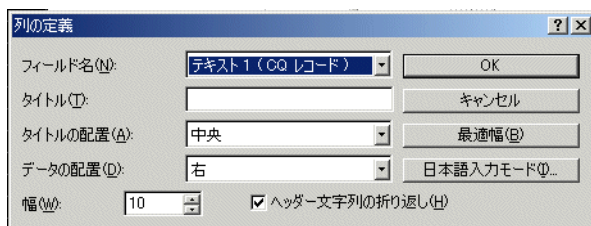
Microsoft Project 2000 のビューに列を追加するには

- 1 ビューの既存の列を選択します。

新規列は、選択したこの列の直前に挿入されます。第 3 列を選択して、新規フィールドを [タスク名] 列の直後に配置することをお勧めします。

- 2 [挿入] メニューの [列の挿入] をクリックするか、列見出しを右クリックしてショートカットメニューの [列の挿入] をクリックします。

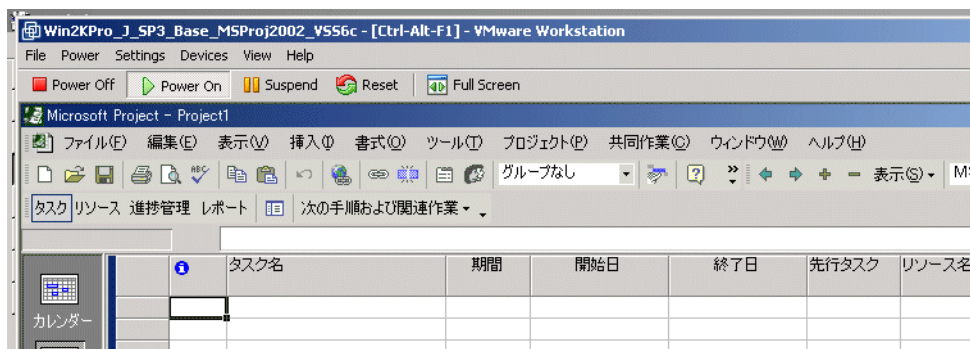
[列の定義] ウィンドウが表示され、新規列のフィールドを選択するよう要求されます。



- 3 [フィールド名] に [CQ レコード] を指定し、[OK] をクリックします。

[CQ レコード] というタイトルの新規列がプロジェクト計画内に表示されます。

- 4 この手順を繰り返して、[CQ タイプ] フィールドの列も追加します。プロジェクト計画に、[CQ レコード] 列と [CQ タイプ] 列が表示されます。



**メモ:** これとほぼ同じ方法で、列を簡単に削除する (非表示にする) ことができます。手順については、Microsoft Project 2000 のヘルプを参照してください。

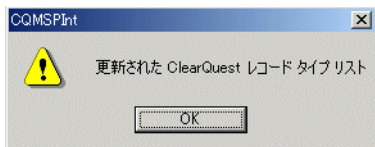
## ClearQuest レコード タイプの更新

---

ClearQuest と Microsoft Project 2000 の間でデータのやり取りを始める前に、使用できるようにする ClearQuest レコード タイプを指定する必要があります。

[ ツール ] メニューの [ ClearQuest ] をポイントし、[ ClearQuest レコード タイプ リストの更新 ] をクリックします。次に、[ OK ] をクリックします。

この機能により、Project Tracker で使用可能なレコード タイプが検出されます ( レコード タイプに適切な ClearQuest パッケージが適用されている場合 )。



この機能では、Microsoft Project 2000 の [ CQ タイプ ] フィールドで使用可能な値のリストが生成され、これらの値が正確であることが保証されます。このフィールドの値によって、所定の Microsoft Project 2000 のタスクに対して作成される ClearQuest レコードの種類が決まります。

# ClearQuest からの レコードのインポート

# 3

この章では、Rational ClearQuest データベースからレコードをインポートして、プロジェクト計画の新規タスクを作成する方法について説明します。

次について説明します。

- ClearQuest レコードをプロジェクト計画にインポートするための基本的な手順の実行方法
- インポートする ClearQuest データベース レコードを正確に選択するクエリーの作成方法と使用方法
- インポート処理中に作成されるログ ファイルの保存方法と表示方法

「第 4 章 Microsoft Project 2000 からのタスクのエクスポート」では、この章とは逆の処理、つまり、ClearQuest データベースで新規レコードを作成するためにプロジェクト計画からタスクをエクスポートする処理について説明します。

「第 1 章 Project Tracker の概要」で説明したように、[インポート] 機能では ClearQuest の新規レコードを使用して Microsoft Project の新規タスクを作成します。これとは対照的に、[更新] 機能では既にリンクされている既存のレコードとタスクを操作します。[更新] 機能については、「第 5 章 更新と同期」を参照してください。

## Microsoft Project 2000 から Rational ClearQuest Project Tracker へのアクセス

---

Rational ClearQuest Project Tracker がインストールされており、Microsoft Project 2000 を開いている場合は、[ツール] メニューの [ClearQuest] をクリックすることで、主要な機能を利用できます。主要な機能は次のとおりです。

- ClearQuest からの計画の更新
- ClearQuest との計画の同期
- ClearQuest への新規タスクのエクスポート
- ClearQuest からの新規レコードのインポート
- ClearQuest データベースへのリンク
- ClearQuest レコード タイプ リストの更新

## ClearQuest データベースからのレコードのインポート

---

インポート処理により、ClearQuest データベースで使用可能な詳細情報に基づいて、新規プロジェクト計画を簡単に作成できます。また、新規タスクを既存のプロジェクト計画に自動的に追加することもできます。

ClearQuest レコードから新規プロジェクト計画を作成するには

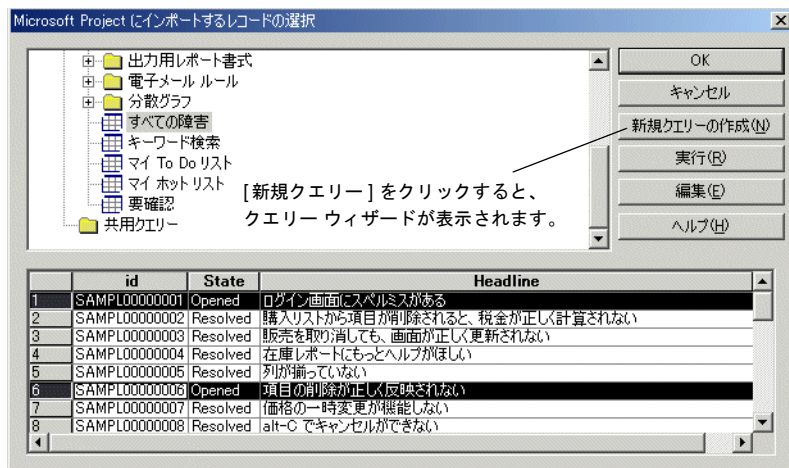
- 1 Microsoft Project 2000 を起動し、プロジェクト計画を開きます。
- 2 [ツール] メニューの [ClearQuest] をポイントし、[ClearQuest からの新規レコードのインポート] をクリックします。

[Microsoft Project にインポートするレコードの選択] ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、ClearQuest データベースを検索するための既存クエリーの選択や新規クエリーの作成を行うことができます (21 ページの「インポートのためのクエリーの作成と使用」を参照してください)。クエリーを実行すると、Project Tracker に ClearQuest データベースのクエリー結果が表示されます。

**メモ:** [Rational ClearQuest ログイン] ウィンドウが表示された場合は、プロジェクト計画を ClearQuest データベースに関連付けます。これらの手順については、「第 2 章 プロジェクト計画と ClearQuest データベースのリンク」を参照してください。

- 3 適切なクエリーを選択または作成したら、[実行] をクリックしてクエリーを実行し、ClearQuest データベースを検索します。クエリー結果が表示されます。
- 4 特定のレコードをプロジェクトにインポートする前に確認する場合は、Project Tracker を使用して、ClearQuest データベースに保存されている実際のレコードフォームにアクセスします。[Microsoft Project にインポートするレコードの選択] ウィンドウで、目的のレコードをダブルクリックします。インポートを継続するには、レコードのウィンドウを閉じます。

- 5 インポートするレコードを選択し、[OK] をクリックします。

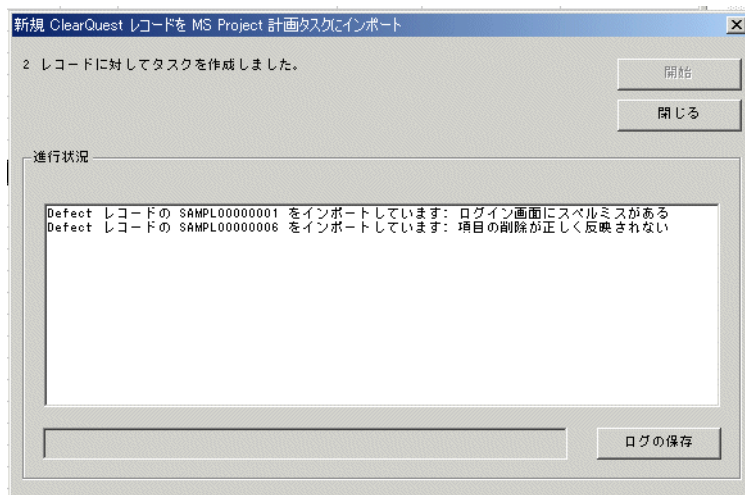


**メモ:** インポートするレコードは必ず反転表示させます。Project Tracker では選択された ClearQuest レコードしかインポートされません。

[新規 ClearQuest レコードを MS Project 計画タスクにインポート] ウィンドウが表示されます。このウィンドウで、インポート処理を開始できます。

- 6 [開始] をクリックします。

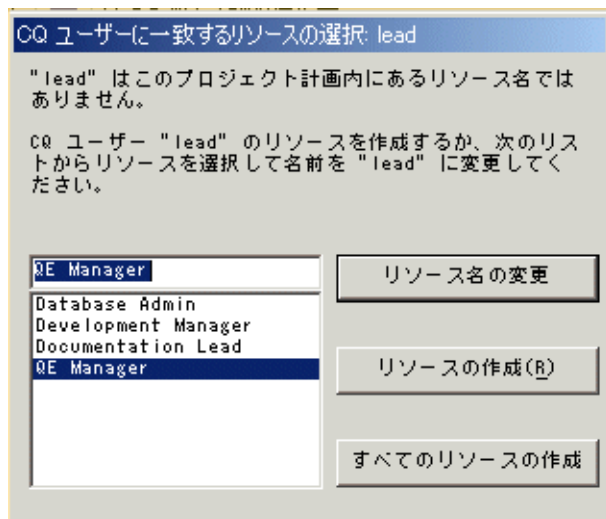
[新規 ClearQuest レコードを MS Project 計画タスクにインポート] ウィンドウに、ClearQuest データベースからレコードがコピーされるときに作成されるタスクが一覧表示されます。[進行状況] ウィンドウに、インポートされる各レコードの ID と名前が表示されます。



- 7 インポートが終了し、プロジェクト計画に戻るには、[閉じる] をクリックします。

## リソースと ClearQuest ユーザーとの一致

インポート処理中に、各 ClearQuest レコードがチェックされ、[所有者] フィールド (ClearQuest ユーザー フィールドと呼ぶこともあります) のエントリが、既にプロジェクト計画で使用されているリソース名のいずれかと一致するかどうかを確認されます。プロジェクト計画で使用されていない ClearQuest レコードに所有者名があった場合は、インポート処理が中断され、[CQ ユーザーに一致するリソースの選択] ウィンドウが表示されます。



リンクされている ClearQuest レコードの [所有者] フィールドと同じリソース名がリストにある場合は、その名前を選択し、[リソース名の変更] をクリックします。たとえば、ClearQuest ユーザーが lead で、プロジェクト計画でそれに相当する名前が QE Manager であることが分かっている場合は、[QE Manager] を選択し、[リソース名の変更] をクリックします。

リソース名を変更すると、ClearQuest データベース レコードの [所有者] フィールドにあったエントリが、プロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドに入力されます。[CQ ユーザーに一致するリソースの選択] ウィンドウで選択したリソース名は使用されません。

前の例では、[リソース名の変更] をクリックする前に [QE Manager] を選択しても、[リソース名] フィールドには [lead] が入力されます。

プロジェクト計画のリソース名が変更されてしまうのはおかしいと思うかもしれませんが、これは次の理由によります。

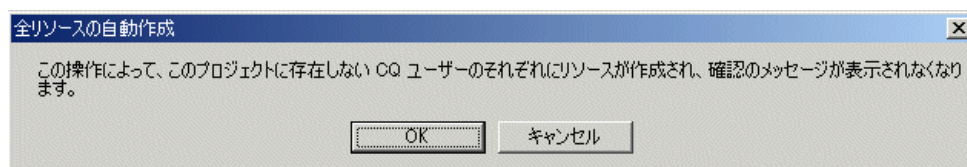
- この処理が終了した時点で、データベース レコードの [所有者] フィールドとプロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドは、同一のエントリを持つ必要があります。
- インポート処理で ClearQuest データベースの値を変更することはできません。

このような場合は、有効なリソース名のリストにあるリソース名も変更されます (この例では、QE Lead が admin に変更されます)。これを確認するには、[ツール] メニューの [リソース] をポイントし、[リソースの割り当て] をクリックします。

この変更は、プロジェクト計画と ClearQuest データベースの両方で、今後のタスクとレコードに同じリソース名 (admin) が一貫して使用されるようにするために行われます。

一致するリソース名がない場合は、[リソースの作成] をクリックします。プロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドに、ClearQuest レコードの [所有者] フィールドのエントリが入力されます。また、プロジェクト計画で使用されたリソース名のリストに新規エントリが追加されます。このリストを確認するには、[ツール] メニューの [リソース] をポイントし、[リソースの割り当て] をクリックします。

[すべてのリソースの作成] をクリックすると、インポートされているすべての ClearQuest データベース レコードの [所有者] フィールドにあるエントリが、プロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドに自動的に入力されます。



[CQ ユーザーに一致するリソースの選択] ウィンドウは、インポート処理中に再度表示されることはありません。[すべてのリソースの作成] をクリックする前に、インポートするほかのレコードに対して [リソース名の変更] 機能を使用する必要がないことを確認してください。

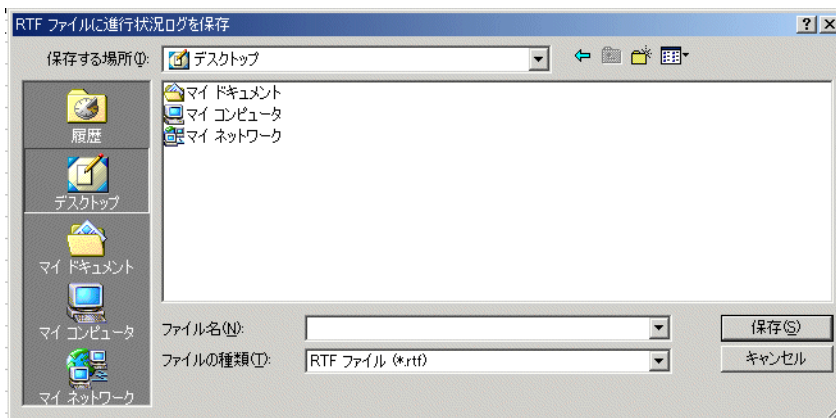
## ログ ファイルの保存と表示

ClearQuest レコードがインポートされると、転送された各レコードと各フィールド値を一覧表示する進行状況ログが作成されます。

ログは、リッチ テキスト形式 (.rtf) ファイルとして保存でき、インポートされたすべての情報がプロジェクト計画に対して適切であることと正しい書式であることを確認できます。保存したファイルは、テキスト エディタまたはワープロ ソフトを使用して開くことができます。

すべてのログ ファイルを 1 つの独立したフォルダに保存しておくと、インポート処理で作成したタスクに問題が発生した際に便利です。

進行状況ログ ファイルを保存し、後で表示できるようにするには、[新規 ClearQuest レコードを MS Project 計画タスクにインポート] ウィンドウで [ログの保存] をクリックし、ログ ファイルのファイル名とディレクトリ パスを指定します。



## Microsoft Project 計画の新規タスクの表示

Project Tracker で、クエリーによって選択されたレコードをプロジェクト計画にインポートすると、新規プロジェクト タスクが作成されます。次の ClearQuest フィールドの情報がコピーされ、対応するプロジェクト計画タスクが作成されます。

- タスク名 / 見出し
- Assigned Resource
- 実績作業時間
- Planned Work
- 残存作業時間
- 実績開始日
- 実績終了日

Project Tracker による ClearQuest レコードの変換が終了すると、新しく作成されたタスクがプロジェクト計画の最後に表示されます。これらの新規タスクは、非サマリ タスクである限り、プロジェクト計画内の任意の場所に再配置することができます。

新規タスクには CQ タイプ値が含まれます。この値は、ClearQuest での定義に従ってインポートされたレコードのタイプ (障害や機能拡張など) を表します。

これで、プロジェクト計画が更新されて、ClearQuest データベースからインポートされた新規タスクが反映されました。

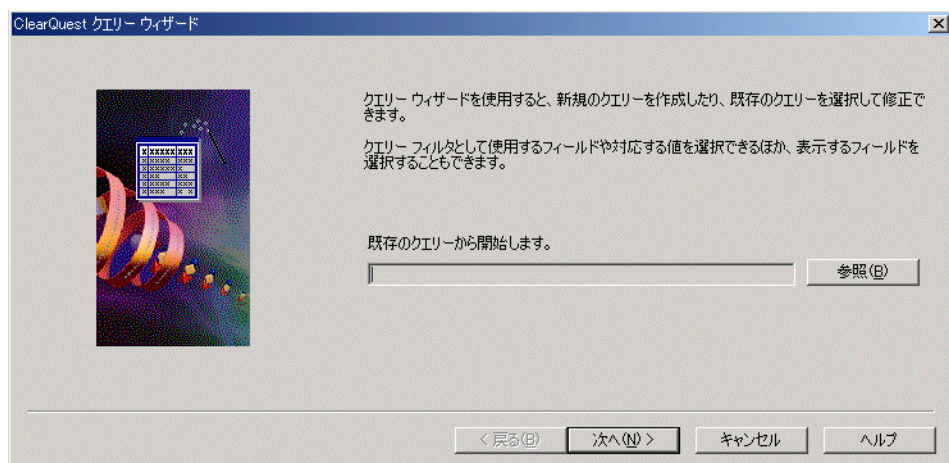
## インポートのためのクエリーの作成と使用

クエリーとは、指定した基準を満たすデータベース レコードを取得する要求のことです。たとえば、あるタイプのすべてのレコード、フィールドの値が指定した値以上のすべてのレコード、ある時刻以降に作成されたすべてのレコードなどを検索することができます。

Project Tracker では、次のことを実行できます。

- 以前に作成したクエリーの実行
- ほかのスタッフが作成した共用クエリーの実行
- 既存のクエリー (自分で作成したクエリーまたは共用クエリー) の修正と実行
- ClearQuest クエリー ウィザードを使用した新規クエリーの作成と実行

Project Tracker で使用するクエリーは、通常の ClearQuest のクエリーとまったく同じであるため、ClearQuest で以前に作成したクエリーを使用することも可能です。データベース クエリーの作成と使用の詳細については、『Rational ClearQuest 入門』を参照してください。クエリーの実行の詳細については、Rational ClearQuest のヘルプを参照してください。



ClearQuest のクエリー ウィンドウを開くには、[ ツール ] メニューの [ClearQuest] をポイントし、[ClearQuest からの新規レコードのインポート] をクリックします。

ウィンドウ上部のワークスペースで、以前に作成した個人用クエリーを選択するか、システム管理者などが作成した既存の共用クエリーから使用可能なものを選択できます。

既存の個人用クエリーを選択し、[実行] をクリックすると、クエリーを実行できます。実行前にクエリーの作成基準を確認するには、[編集] をクリックします。クエリーを作成または選択して [実行] をクリックすると、クエリーが実行されます。既に説明したように、クエリーによって ClearQuest データベースから取得したレコードが Project Tracker に表示されます。

## プロジェクト計画のマスター コピーの保存

Microsoft Project プロジェクト計画の最新公式バージョンのマスター コピーを安全な場所に保管して、インポートやエクスポートなどの Project Tracker 機能を実行する際にこのマスター コピーを使用することを強くお勧めします。

場合によっては、プロジェクト計画を複数コピーして、複数のプロジェクト マネージャーに配布することもできます。ただし、各コピーから ClearQuest データベースにレコードをエクスポートするのは安全ではありません。プロジェクト計画の 1 つのコピーの変更がほかのコピーの変更と異なる可能性があるからです。リード プロジェクト マネージャーは、責任を持って変更をすべてのソースからプロジェクト計画のマスター コピーに統合し、そのマスター コピーを使用して ClearQuest データベースへのエクスポートを実行する必要があります。

これは、Project Tracker のその他の機能についても同様です。プロジェクト計画のマスター コピーを安全に保管し、すべての変更をこのコピーに統合して、すべてのインポート、エクスポート、更新、同期が、このバージョンのプロジェクト計画と ClearQuest データベースの間で実行されるようにします。

# Microsoft Project 2000 からの タスクのエクスポート

# 4

この章では、Rational ClearQuest データベースに新規レコードを作成するために、プロジェクト計画からタスクをエクスポートする方法を説明します。

また、エクスポート処理中に作成されるログ ファイルの保存方法と表示方法についても説明します。最後に、エクスポート処理がプロジェクト計画の特定のフィールドと ClearQuest データベースに与える影響に関する注意を示します。

第 1 章で説明したように、[エクスポート] 機能では Microsoft Project の新規タスクを使用して ClearQuest の新規レコードを作成します。これとは対照的に、[同期] 機能では既にリンクされている既存のタスクとレコードを操作します。[同期] 機能については、「第 5 章 更新と同期」を参照してください。

## CQ レコード タイプと必須フィールド

---

エクスポート処理の説明の前に、CQ レコード タイプについてと ClearQuest レコードの必須フィールドの概念について理解しておくことが有効です。

プロジェクト計画タスクをエクスポートして新規 ClearQuest データベース レコードを作成するには、新規レコードごとに CQ レコード タイプを選択する必要があります。

選択するレコード タイプによっては、そのレコード タイプの追加の必須フィールドに値を入力しなければならないこともあります。たとえば、タスクをエクスポートする際に、CQ レコード タイプとして機能拡張依頼を選択した場合、そのレコードの顧客名と顧客側の優先度を入力する必要があります。情報の入力には、一連の ClearQuest フォーム (登録フォーム) を使用します。

ClearQuest を使用する各スタッフとチーム マネージャーは、CQ レコード タイプと必須フィールドを使用して、データベース レコードの検索と分析を行います。たとえば、あるマネージャーが最近のすべての機能拡張依頼をまとめたレポートを作成し、優先度別に依頼を分類すると仮定します。この分類は、エクスポート処理中に、機能拡張依頼を表すタスクを EnhancementRequest レコード タイプとして特定しており、[顧客側の優先度] フィールドへの指定 (高、中、低) を行っている場合にのみ可能です。

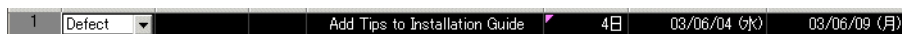
## プロジェクト計画からタスクをエクスポートして ClearQuest レコードを作成する

Microsoft Project 2000 のプロジェクト計画からタスクをエクスポートして Rational ClearQuest データベースに新規レコードを作成できます。これにより、次のことを行うことができます。

- プロジェクト計画の情報に基づいて、ClearQuest データベースに新規レコードを追加する。
- プロジェクトの進行過程でプロジェクト計画に追加された新規タスクに基づいて、ClearQuest データベースを継続的に更新する。

プロジェクト計画をエクスポートするには

- 1 Microsoft Project 2000 を起動し、プロジェクト計画を開きます。
- 2 特定のタスクの [CQ タイプ] フィールドで、リストから有効なレコードタイプを選択します。エクスポートするタスクごとに、この手順を繰り返します。

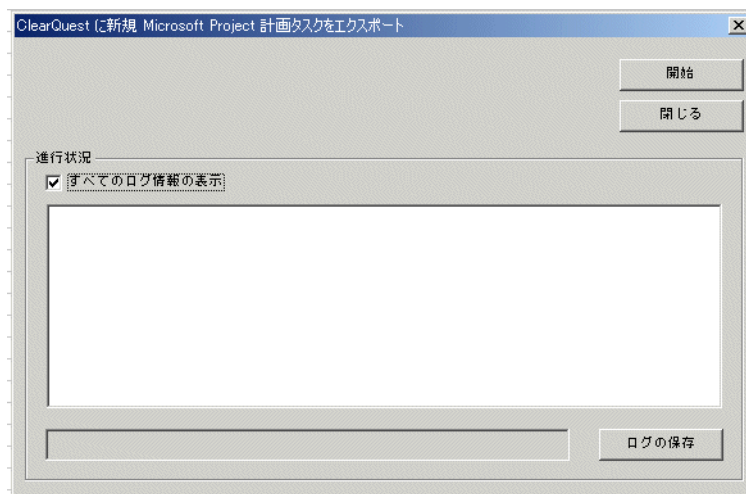


- 3 ClearQuest データベースにエクスポートするタスクを選択します。

エクスポートするタスクは必ず選択します。Rational ClearQuest Project Tracker では選択されたタスクしかエクスポートされません。

- 4 [ツール] メニューの [ClearQuest] をポイントし、[ClearQuest に新規タスクをエクスポート] をクリックします。

[ClearQuest に新規 Microsoft Project 計画タスクをエクスポート] ウィンドウが表示されます。



5 [開始] をクリックします。

6 エクスポートするレコード タイプのいずれかに必須フィールドが存在する場合は、作成中の新規レコードにデータを追加するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

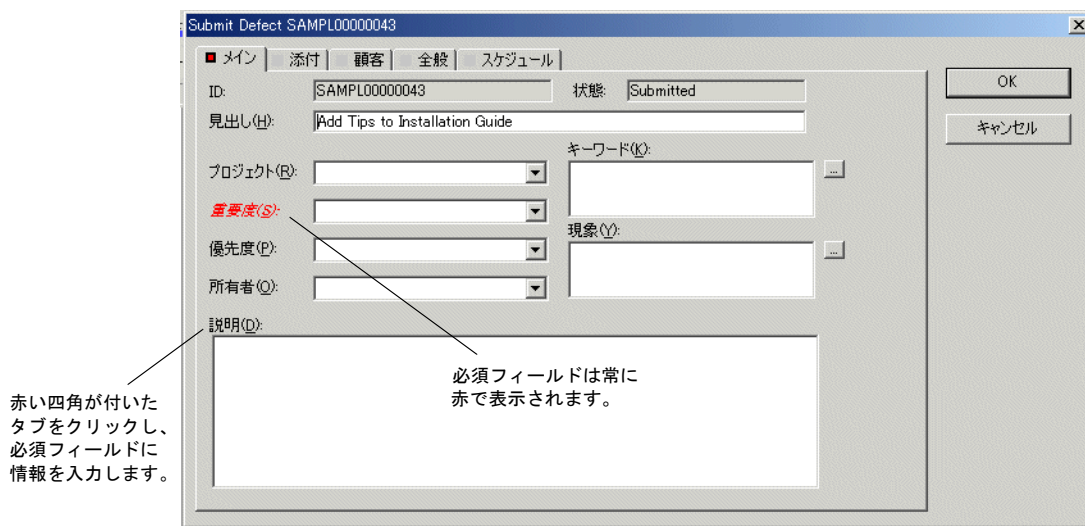
[いいえ] をクリックすると、タスクは **ClearQuest** データベースにエクスポートされません (プロジェクト計画には残ります)。

[はい] をクリックすると、**ClearQuest** で使用されるフォームが表示され、そのレコードタイプのデータの登録と修正を行うことができます。



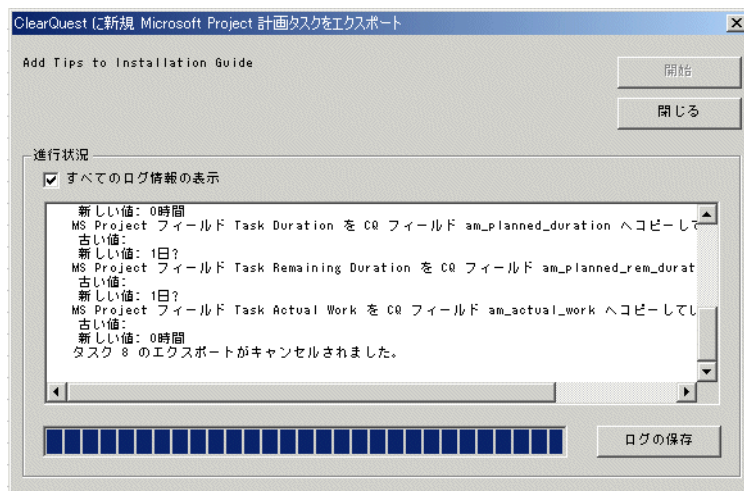
7 **ClearQuest** フォームでタブに必須フィールドがある場合は、赤い四角で示されます。必須フィールドの名前は赤で表示されます。

赤い四角が付いたタブをクリックし、各必須フィールドに入力します。フォーム上のその他のフィールドにも、正しい情報が分かっている場合は、情報を入力します。



8 エクスポートするすべてのタスクについて必須フィールドの入力が完了すると、エクスポート処理が開始され、[進行状況] ウィンドウにエクスポート中の各タスクの名前が表示されます。

- 9 [OK] をクリックすると、ClearQuest データベースの変更とプロジェクト計画の変更が保存されます。

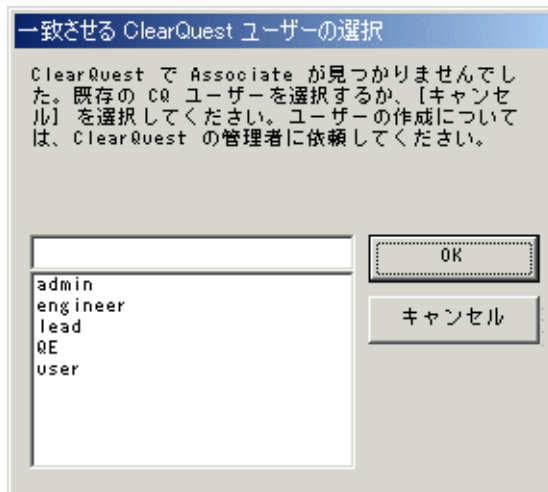


- 10 タスクとその値に関するすべての詳細を表示するには、エクスポート処理中に [すべてのログ情報の表示] ボックスをオンにします。

[すべてのログ情報の表示] ボックスは、エクスポート処理の前または最中にオンまたはオフにすることができます。このボックスがオンの場合は、フィールドの値など、エクスポート中の各タスクの各フィールドに関する情報が [進行状況] ウィンドウに表示されます。このボックスがオフの場合は、ClearQuest データベースにコピー中のタスク名のみが [ClearQuest に新規 Microsoft Project 計画タスクをエクスポート] ウィンドウに表示されます。

エクスポート処理が完了すると、プロジェクト計画の変更を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[OK] をクリックすると、変更が ClearQuest データベースに保存されます。[キャンセル] をクリックすると、その新規レコードは ClearQuest データベースに保存されません。

- 11 エクスポート処理中に、各プロジェクト計画タスクがチェックされ、[リソース名] フィールドのエントリが、既に ClearQuest データベースで使用されている [所有者] フィールド (ClearQuest ユーザー フィールドと呼ぶこともあります) のエントリのいずれかと一致するかどうかを確認されます。
- 12 ClearQuest データベースで使用されていないリソース名がプロジェクト計画タスクにあった場合は、エクスポート処理が中断され、[一致させる ClearQuest ユーザーの選択] ウィンドウが表示されます。



リンクされているプロジェクト計画タスクの [リソース] フィールドと同じ所有者名がリストにある場合は、その名前を選択し、[OK] をクリックします。

たとえば、プロジェクト計画のリソース名が user で、ClearQuest データベースの所有者名が Associate であることが分かっている場合は、[user] を選択し、[OK] をクリックします。

[OK] をクリックすると、ClearQuest データベース レコードの [所有者] フィールドにあったエントリが、プロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドに入力されます。

前の例では、エクスポートしていたプロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドに user が入力されます。これは、処理が終了した時点で、データベース レコードの [所有者] フィールドとプロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドが必ず同一のエントリを持つようにするためです。また、プロジェクト計画と ClearQuest データベースの両方で今後のタスクとレコードに同じリソース名 (user) が一貫して使用されるようにするため、有効なリソース名のリストにあるリソース名が変更されます。

一致するユーザー名がないときは、[キャンセル] をクリックします。プロジェクト計画タスクのエクスポートがキャンセルされます。ClearQuest 管理者に問い合わせ、ClearQuest データベースに正しいユーザー名を作成してください。

- 13 [ClearQuest に新規 Microsoft Project 計画タスクをエクスポート] ウィンドウに戻ったら、[ログの保存] をクリックし、情報をリッチテキスト形式 (.rtf) ファイルに保存します (19 ページの「ログ ファイルの保存と表示」を参照してください)。
- 14 エクスポートが終了し、プロジェクト計画に戻るには、[閉じる] をクリックします。  
エクスポートしたタスクには、固有の CQ レコード ID が表示されます。

Defect SAMPL00000001 ログイン画面にスペルミスがあ 1日? 03/06/02 (月) 03/06/02 (月)

## プロジェクト計画のマスター コピーの保存

Microsoft Project プロジェクト計画の最新公式バージョンのマスター コピーを安全な場所に保管して、インポートやエクスポートなどの Project Tracker 機能を実行する際にこのマスター コピーを使用することを強くお勧めします。

場合によっては、プロジェクト計画を複数コピーして、複数のプロジェクト マネージャーに配布することもできます。ただし、各コピーから ClearQuest データベースにレコードをエクスポートするのは安全ではありません。プロジェクト計画の 1 つのコピーの変更がほかのコピーの変更と異なる可能性があるからです。リード プロジェクト マネージャーは、責任を持って変更をすべてのソースからプロジェクト計画のマスター コピーに統合し、そのマスター コピーを使用して ClearQuest データベースへのエクスポートを実行する必要があります。

これは、Project Tracker のその他の機能についても同様です。プロジェクト計画のマスター コピーを安全に保管し、すべての変更をこのコピーに統合して、すべてのインポート、エクスポート、更新、同期が、このバージョンのプロジェクト計画と ClearQuest データベースの間で実行されるようにします。

## ClearQuest データベースの新規レコードの表示

---

Project Tracker で各タスクに新規 ClearQuest レコードを作成すると、Microsoft Project 2000 タスクからそのレコードに次のフィールドが転送されます。

- タスク名
- Planned Start Date
- Planned Finish Date
- Planned Work
- 実績作業時間
- 残存作業時間
- 実績開始日
- 実績終了日
- Assigned Resource

プロジェクト計画タスクのエクスポートが終了すると、新しく作成されたレコードが ClearQuest データベースに一覧表示されます。

プロジェクト計画タスクから取得された開始予定日と終了予定日が、このレコードの ClearQuest フォームの [Schedule] タブに表示されます。これらのフィールドは、ClearQuest を使用するチーム メンバーは変更できません。これらの日付の管理は、プロジェクト計画を作成するプロジェクト マネージャーの担当であり、ClearQuest を使用するチーム メンバーの担当ではないからです。

## エクスポートに関する追加情報

---

### リソースの割り当て

Microsoft Project 2000 では 1 つのタスクに複数のリソースを割り当てることができますが、Rational ClearQuest では 1 つのリソースしか割り当てることができません。プロジェクト計画タスクに複数のリソースが指摘されている場合、Project Tracker では最初のリソースのみが割り当てられます。

### エクスポートされないサマリ タスクとマイルストーン

「第 1 章 Project Tracker の概要」で説明したとおり、Project Tracker では、Microsoft Project 2000 のサマリ タスクやマイルストーンはエクスポートされません。サマリ タスクは、プロジェクトのフェーズを要約する詳細タスクの集合です。要約対象となる詳細タスクに関連しない作業は含まれません。マイルストーンは、重要なイベントまたは期限をマークするポイントです。これに関連付けられた作業や期間はありません。したがって、Project Tracker では、詳細タスクの ClearQuest データベース レコードは作成されますが、サマリ タスクやマイルストーンのレコードは作成されません。

### 所有者によるフィールド値の変更

タスクが ClearQuest にエクスポートされると、その結果として作成されるレコードのいくつかのフィールドを、レコードの所有者は変更することができます。

所有者とは、そのタスクの実行を担当するチーム メンバーです。変更できるフィールドは、実績開始日や残存作業時間など、チーム メンバーが正しい情報を入力できるフィールドです。変更できないフィールドは、開始予定日や終了予定日など、プロジェクト マネージャーが正しい情報を入力できるフィールドです。

## タスクにエントリがないときの必須フィールドへの入力

タスクのフィールドが空白で、そのフィールドが **ClearQuest** データベース レコードの必須フィールドと一致する場合は、エントリを求めるメッセージが表示されます。エントリを行うと、その値はデータベース レコードに入力されますが、プロジェクト計画タスクのフィールドは空白のままです。このような場合は、[更新] 機能または [同期] 機能を実行して、タスクとレコードに同一の値を設定します ([更新] 機能と [同期] 機能については、「第 5 章 更新と同期」を参照してください)。

たとえば、[所有者] フィールドがプロジェクト計画タスクで空白の場合、エクスポート処理中に、このフィールドの名前の入力を求めるメッセージが表示されることがあります。[所有者] フィールドは、**ClearQuest** データベース レコードの必須フィールドであるからです。エントリを行うと、その値はエクスポート処理によって作成される新規データベース レコードに入力されますが、プロジェクト計画タスクのフィールドは空白のままです。プロジェクト計画タスクにデータベース レコードと同一の情報を入力するには、[更新] 機能または [同期] 機能を実行する必要があります。

この章では、プロジェクト計画タスクを **Rational ClearQuest** データベース レコードを基に更新するための基本的な手順と、ログ ファイルの保存方法と表示方法の概要について説明します。また、プロジェクト計画と **ClearQuest** データベースの間で双方向で同期するための基本的な手順も説明します。

さらに、同じ情報が 2 つのシステムで別々に変更された場合に、更新と同期を行うことによって発生する競合を解決するために使用するルールについても説明します。

[更新] 機能と [同期] 機能を使用しても、削除したタスクやレコードは自動的に処理されないことに注意してください。削除に関する問題については、「第 6 章 その他の管理手順」を参照してください。

## 同期と更新の相違点

---

プロジェクト計画と **ClearQuest** データベースの同期は、プロジェクト計画の更新とよく似ています。主な相違点は、[**ClearQuest** からの計画の更新] 機能では、情報の転送が一方で行われ、**ClearQuest** データベースを基にプロジェクト計画が更新されるということです。

同期処理では、情報の転送が双方向で行われます。まず **ClearQuest** データベースを基にプロジェクト計画が更新され、次にプロジェクト計画を基に **ClearQuest** データベースが更新されます。その結果、リンクされているレコードとタスクは同じ情報を共有します。

## ClearQuest レコードに基づくリンク済みプロジェクト計画 タスクの更新

---

プロジェクトの進行に伴い、チーム メンバーによって ClearQuest データベース レコードの情報が変更されます。

たとえば、あるチーム メンバーが、ClearQuest レコードの [スケジュール] フォームにある実際の開始日と終了日のフィールドに新しい日付を指定するとします。

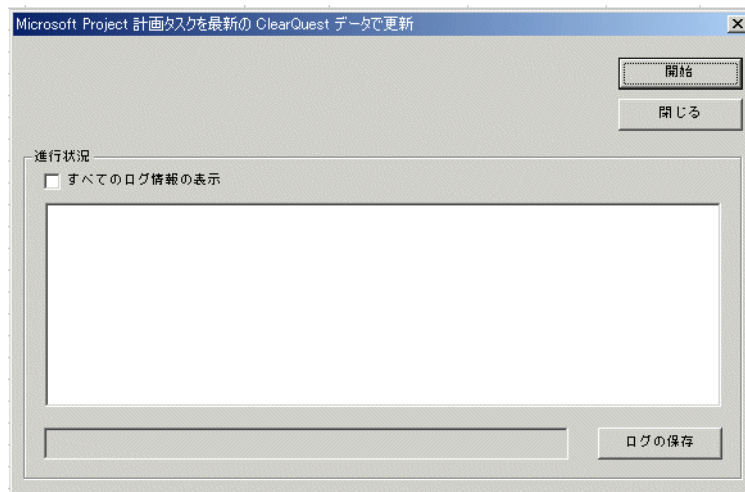
その ClearQuest レコードが既にプロジェクト計画の特定のタスクにリンクされている場合は、[ClearQuest からの計画の更新] 機能を使用して、リンクされているタスクを、ClearQuest レコードの変更情報で自動的に更新することができます。

ClearQuest レコードを基に更新されるタスク フィールドは、次のとおりです。

- タスク名 / 見出し
- Assigned Resource
- 実績作業時間
- Planned Work
- 残存作業時間
- 実績開始日
- 実績終了日

ClearQuest レコードを基にプロジェクト計画タスクを更新するには

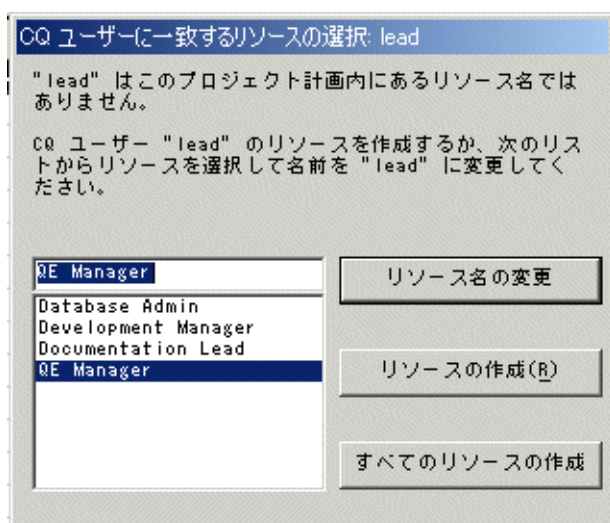
- 1 Microsoft Project 2000 を起動し、プロジェクト計画を開きます。
- 2 [ツール] メニューの [ClearQuest] をポイントし、[ClearQuest からの計画の更新] をクリックします。更新に使用するウィンドウが表示されます。



- 3 更新に関する詳細を表示するには、更新処理の前または最中に [すべてのログ情報の表示] チェックボックスをオンにします。

このボックスをオンにすると、新しい情報で更新中の各値に関する情報が [進行状況] ウィンドウに表示されます。このボックスがオフの場合は、[進行状況] ウィンドウには更新されているタスクの名前のみが表示されます。

- 4 [開始] をクリックします。
- 5 更新処理中に、各 ClearQuest レコードがチェックされ、[所有者] フィールド (ClearQuest ユーザー フィールドと呼ぶこともあります) のエントリが、既にプロジェクト計画で使用されているリソース名のいずれかと一致するかどうかを確認されます。プロジェクト計画で使用されていない ClearQuest レコードに所有者名があった場合は、更新処理が中断され、[CQ ユーザーに一致するリソースの選択] ウィンドウが表示されます。



リンクされている ClearQuest レコードの [所有者] フィールドと同じリソース名がリストにある場合は、その名前を選択し、[リソース名の変更] をクリックします。

一致するリソース名がない場合は、[リソースの作成] をクリックします。プロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドに、ClearQuest レコードの [所有者] フィールドのエントリが入力されます。

[すべてのリソースの作成] をクリックすると、更新処理で使用されているほかのすべての ClearQuest データベース レコードの [所有者] フィールドにあるエントリが、[リソース名] フィールドに自動的に入力されます。これらのオプションの詳細については、「第 3 章 ClearQuest からのレコードのインポート」の「リソースと ClearQuest ユーザーとの一致」を参照してください。

- 6 すべてのトランザクションのコピーを作成するには、[ ログの保存 ] をクリックします。  
更新処理の完了後に、トランザクションがリッチテキスト形式 (.rtf) ファイルとして保存されます。

保存した .rtf ファイルは、テキストエディタまたはワープロソフトを使用して開くことができます。詳細については、19 ページの「ログファイルの保存と表示」を参照してください。

- 7 更新が終了し、プロジェクト計画に戻るには、[ 閉じる ] をクリックします。

## プロジェクト計画とデータベースの同期

---

プロジェクトの進行過程で、要求、優先度、リソースの変更に合わせてプロジェクト計画を更新することがあります。[ClearQuest との計画の同期] 機能を使用すると、この変更した計画情報を Project Tracker を使用してメンバーに知らせることができます。

たとえば、プロジェクト計画を修正する過程で一部のタスクの開始予定日や終了予定日を変更した場合、同期処理を実行すると、これらの変更内容が ClearQuest データベースの該当するレコードにコピーされます。その後、チームメンバーが ClearQuest データベースに対して To Do List クエリーを実行すると、その先に計画されているタスクのリストが表示され、これらのタスクのレコードには更新された予定日が入ります。

Project Tracker では、まず、リンクされている ClearQuest データベースレコードから情報を取得して、以下のプロジェクト計画タスクの値を更新します。

- タスク名 / 見出し
- Assigned Resource
- 実績作業時間
- Planned Work
- 残存作業時間
- 実績開始日
- 実績終了日

次に、以下のプロジェクト計画タスクの値から情報を取得し、その情報を使用して、リンクされている ClearQuest データベースレコードを更新します。

- タスク名 / 見出し
- Assigned Resource
- Planned Start Date
- Planned Finish Date

- Planned Work
- 残存作業時間
- Planned Duration
- 残存期間
- 実績作業時間
- 実績開始日
- 実績終了日

## ClearQuest とプロジェクト計画の変更

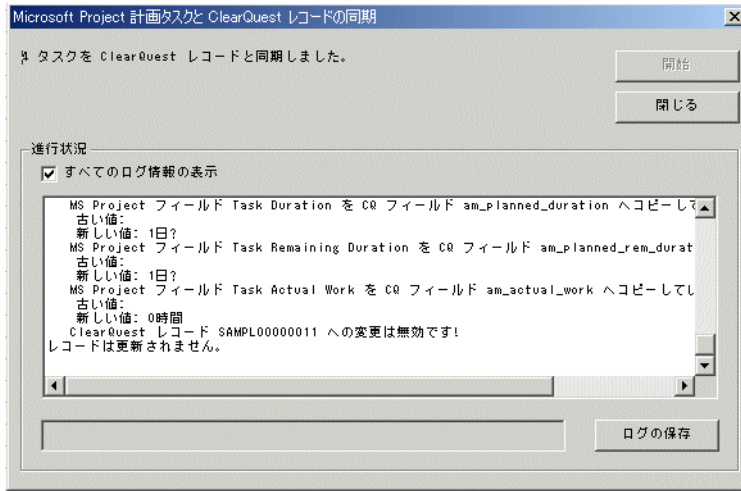
[ClearQuest との計画の同期] 機能は慎重に使用する必要があります。この機能によって、ClearQuest データベースとプロジェクト計画の両方が変更されるからです。変更内容が ClearQuest データベースに保存された後では、訂正する際に ClearQuest 管理者の協力が必要になります。

## リンクされているタスクとレコードの同期

Rational ClearQuest データベースとプロジェクト計画を同期するには

- 1 Microsoft Project 2000 を起動し、プロジェクト計画を開きます。
- 2 [ツール] メニューの [ClearQuest] をポイントし、[ClearQuest との計画の同期] をクリックします。  
  
[Microsoft Project 計画タスクと ClearQuest レコードの同期] ウィンドウが表示されます。
- 3 変更された値の詳細を表示するには、[すべてのログ情報の表示] チェックボックスをオンにします。ここでも、[すべてのログ情報の表示] ボックスは、同期処理の前または最中にオンまたはオフにすることができます。
- 4 [開始] をクリックします。

タスクが同期されるたびに、作成されたログ トランザクションが表示されます。



## リソースと CQ ユーザーとの一致

同期処理中に、Project Tracker では、ClearQuest データベース レコードの [所有者] フィールドのエントリと、リンクされている Microsoft Project プロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドの対応するエントリが 2 回比較され、これらのエントリが同一であるかどうかを確認されます。

1 回目の比較は、プロジェクト計画タスクを更新するために、修正されたデータベース レコードを同期処理で取得する際に行われます。2 回目の比較は、データベース レコードを更新するために、修正されたプロジェクト タスクを同期処理で取得する際に行われます。

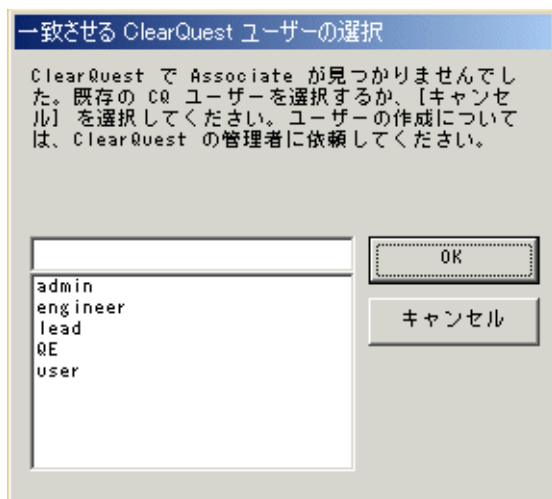
同期処理の 1 回目の比較で、各 ClearQuest レコードがチェックされ、[所有者] フィールド (ClearQuest ユーザー フィールドと呼ぶこともあります) のエントリが、既にプロジェクト計画で使用されているリソース名のいずれかと一致するかどうかを確認されます。プロジェクト計画で使用されていない ClearQuest レコードに所有者名があった場合は、同期処理が中断され、[CQ ユーザーに一致するリソースの選択] ウィンドウが表示されます。

リンクされている ClearQuest レコードの [所有者] フィールドと同じリソース名がリストにある場合は、その名前を選択し、[リソース名の変更] をクリックします。

一致するリソース名がない場合は、[リソースの作成] をクリックします。プロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドに、ClearQuest レコードの [所有者] フィールドのエントリが入力されます。

[すべてのリソースの作成] をクリックすると、同期処理で使用されているほかのすべての ClearQuest データベース レコードの [所有者] フィールドにあるエントリが、プロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドに自動的に入力されます。これらのオプションの詳細については、18 ページの「リソースと ClearQuest ユーザーとの一致」を参照してください。

同期処理の 2 回目の比較で、各プロジェクト計画タスクがチェックされ、[リソース名] フィールドのエントリが、既に ClearQuest データベースで使用されている [所有者] フィールドのエントリのいずれかと一致するかどうかを確認されます。ClearQuest データベースで使用されていないリソース名がプロジェクト計画タスクにあった場合は、同期処理が中断され、[一致させる ClearQuest ユーザーの選択] ウィンドウが表示されます。



リンクされているプロジェクト計画タスクの [リソース] フィールドと同じ所有者名がリストにある場合は、その名前を選択し、[OK] をクリックします。

[OK] をクリックすると、ClearQuest データベース レコードの [所有者] フィールドにあったエントリが、プロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドに入力されます。これは、処理が終了した時点で、データベースの [所有者] とプロジェクト計画タスクの [リソース名] が必ず同一エントリを持つようにするためです。また、プロジェクト計画と ClearQuest データベースの両方で今後のタスクとレコードに同じリソース名が一貫して使用されるようにするため、有効なリソース名のリストにあるリソース名が変更されます。

一致するユーザー名がないときは、[キャンセル] をクリックします。プロジェクト計画タスクの同期がキャンセルされます。ClearQuest 管理者に問い合わせ、ClearQuest データベースに正しいユーザー名を作成してください。

## ログ ファイルの保存と表示

同期処理が完了すると、プロジェクト計画の変更を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。ClearQuest データベースの変更は既に行われているので、プロジェクト計画の変更を保存する必要があります。保存することによって、ClearQuest データベースとプロジェクト計画の間で共有する情報の整合性が保たれます。

- 1 プロジェクト計画を保存するには、[OK] をクリックします。[プランニング ウィザード] ウィンドウが表示されます。
- 2 [プランニング ウィザード] ウィンドウで、プロジェクト計画を基準計画と共に保存するか基準計画なしで保存するかを選択し、[保存] をクリックします。[Microsoft Project 計画タスクと ClearQuest レコードの同期] ウィンドウに戻ります。
- 3 ログをリッチ テキスト形式 (.rtf) ファイルとして保存するには、[ログの保存] をクリックします。保存したファイルは、テキスト エディタまたはワープロ ソフトを使用して開くことができます。
- 4 同期が終了し、プロジェクト計画に戻るには、[閉じる] をクリックします。

## 情報の競合を解決するルール

---

プロジェクト計画と ClearQuest データベースとの更新や同期の際に、情報の競合が発生することがあります。これは、2 つのシステムで同じ情報が別々に変更されたときに発生します。たとえば、プロジェクト マネージャーが Microsoft Project 2000 のタスクの開始日付を変更する一方で、そのタスクの担当スタッフがそれとは異なる日付を ClearQuest データベースに入力した場合などです。

この問題を解決するために、Project Tracker では、誰が最も正しい情報を持っているか、誰が最も正しい決定をすることができるかなど、優先順位を決定するための同期ルールを適用します。

前の例では、同じ情報が Microsoft Project 2000 と ClearQuest で別々に変更されました。タスクの実際の開始日を知る上で最適な位置にいるのはそのタスクの担当スタッフであるため、Rational ClearQuest Project Tracker のルールでは、このフィールドについては担当スタッフの決定が優先されます。

このルールを適用すると、[ClearQuest からの計画の更新] 機能と [ClearQuest との計画の同期] 機能により、実際の開始日の値が、ClearQuest データベースから対応するプロジェクト計画のフィールドにコピーされます。

プロジェクト マネージャーの決定が優先されるルールも当然あります。たとえば、プロジェクト マネージャーは計画作成を担当しているので、開始予定日の値は常に Microsoft Project タスクのエントリが優先されます。

Project Tracker で適用される同期ルールを次の表に示します。この表は、Microsoft Project 2000 と ClearQuest で更新できるフィールドと、競合があった場合にどちらの情報が優先されるのかを示しています。

フィールド名	Microsoft Project での更新	ClearQuest での更新	競合があった場合の 優先
タスク名/見出し	可能	可能	ClearQuest
Planned Start Date	可能	不可能	-
Planned Finish Date	可能	不可能	-
Planned Work	可能	可能	ClearQuest
残存作業時間	可能	可能	ClearQuest
Planned Duration	可能	不可能	-
残存期間	可能	不可能	-
実績作業時間	可能	可能	ClearQuest
実績開始日	可能	可能	ClearQuest
実績終了日	可能	可能	ClearQuest

[説明] フィールドは、プロジェクト計画でも ClearQuest データベースでも変更されません。

## 同期ルールの無効化

場合によっては、Project Tracker で適用される同期ルールを無効にする必要があります。ルールを無効にするには、更新または同期されたタスクのログを表示し (19 ページの「ログ ファイルの保存と表示」を参照してください)、Microsoft Project 2000 と ClearQuest を使用して、該当のタスクとレコードを手動で更新します。



この章では、プロジェクト計画と Rational ClearQuest データベースのデータを正しく同期させるために必要な管理手順について説明します。また、トラブルシューティングに使用できる追加情報も提供します。

## 複数機能の使用による最新情報の確保

---

### リンクされているタスクとレコードのみへの更新と同期の適用

[更新] 機能と [同期] 機能は、インポート処理またはエクスポート処理によって既にレコードにリンクされているタスクにのみ適用されます。これらの機能では、新規タスクと新規のデータベース レコード (つまり、リンクされているレコードがないタスクと、リンクされているタスクがないレコード) は無視されます。

プロジェクト計画と ClearQuest データベースを確実に最新の状態に更新するには、一度に複数の機能を使用する必要があります。

### プロジェクト計画を更新するためのインポートと更新

各スタッフによって新規レコードが ClearQuest データベースに追加されたら、それらの新規レコードを新規タスクとしてプロジェクト計画に転送する必要があります。しかし、[更新] 機能と [同期] 機能では、最後に [インポート] 機能が使用された後に追加されたすべてのレコードは無視されます。それらのレコードはプロジェクト計画タスクにリンクされていないからです。

したがって、ClearQuest データベースの新規レコードと修正されたレコードの両方が確実にプロジェクト計画に反映されるようにするには、まず [インポート] 機能を使用して新規レコードを転送し、次に [更新] 機能を使用して既存のレコードから変更情報を取得する必要があります。

## ClearQuest データベースを更新するためのエクスポートと同期

プロジェクト マネージャーによって Microsoft Project 2000 のプロジェクト計画に新規タスクが追加されたら、それらの新規タスクを新規レコードとして ClearQuest データベースに転送する必要があります。しかし、[同期] 機能では、最後に [エクスポート] 機能が使用された後に追加されたすべてのタスクは無視されます。それらの追加されたタスクはデータベース レコードにリンクされていないからです。

したがって、新規タスクと修正されたタスクの両方が確実に ClearQuest データベースに反映されるようにするには、まず [エクスポート] 機能を使用して新規タスクを転送し、次に [同期] 機能を使用して既存のタスクから変更情報を取得する必要があります。

## ClearQuest レコード タイプ リストの更新

Microsoft Project にレコードがインポートされる際には、作成された新規タスクの [CQ タイプ] フィールドに有効な ClearQuest レコード タイプのみが挿入されるよう、Project Tracker によってチェックされます。

ただし、プロジェクトの進行過程で、ClearQuest システム管理者が ClearQuest データベースで新規レコード タイプを追加したり、古いレコード タイプを削除することがあります。この場合は、[ClearQuest レコード タイプ リストの更新] 機能を実行する必要があります。

この機能を実行すると、そのプロジェクト計画の ClearQuest レコード タイプ リストが更新され、有効なレコード タイプのリストに新規エントリが追加されます。

または、新規タスクのレコード タイプをリストに既にあるタイプに変換することもできます。ただし、これらのいずれかを実行する必要があります。実行しないと、レコードをインポートすることはできません。

[ClearQuest レコード タイプ リストの更新] 機能を実行するには、[ツール] メニューの [ClearQuest] をポイントし、[ClearQuest レコード タイプ リストの更新] をクリックします。

## タスクとレコードの削除

---

### プロジェクト計画からのタスクの削除

プロジェクト計画からタスクを削除する場合は、慎重に行う必要があります。削除したタスクに対応する ClearQuest レコードは削除できますが、それ以外の場合はレコードを削除せずにそのまま残しておくことをお勧めします。プロジェクト計画で必要のない項目であっても、その項目に対して何らかの作業が行われているかもしれません。また、その作業が別のプロジェクトへの転送中である可能性もあります。

プロジェクト計画からタスクを削除しても、Project Tracker では対応する ClearQuest レコードが削除されません。ユーザーは、ClearQuest レコードをデータベースにそのまま残しておくか、ClearQuest から手動で削除することができます。選択肢は 2 つですが、いずれの場合も、プロジェクト計画から削除されたすべてのタスクを慎重に追跡し、それぞれ適切に対処してください。

[更新] 機能と [同期] 機能によって作成されたログには、ClearQuest データベース レコードにリンクされているタスクを検出できなかった場合に、その旨を示すメッセージが記録されます。ログのメッセージを確認し、結果が適切かどうかを確認してください。

### ClearQuest データベースからのレコードの削除

ClearQuest データベースのレコードの削除も、慎重に行う必要があります。削除したレコードに対応するプロジェクト計画タスクは削除できますが、それ以外の場合はタスクを削除せずにそのまま残しておくことをお勧めします。

ClearQuest データベースからレコードを削除しても、Project Tracker では対応するプロジェクト計画タスクが削除されません。ユーザーは、プロジェクト計画のタスクをそのまま残しておくか、Microsoft Project 2000 から手動で削除することができます。選択肢は 2 つですが、いずれの場合も、ClearQuest データベースから削除されたすべてのレコードを慎重に追跡し、それぞれ適切に対処してください。

[更新] 機能と [同期] 機能によって作成されたログには、タスクにリンクされている ClearQuest データベース レコードを検出できなかった場合に、その旨を示すメッセージが記録されます。ログのメッセージを確認し、結果が適切かどうかを確認してください。

## その他の考慮事項

---

### ClearQuest の必須フィールドの変更

ClearQuest 管理者は、ClearQuest データベース スキーマを変更して新規の必須フィールドを追加したり既存のフィールドを必須フィールドにした場合は、プロジェクト マネージャーと緊密に連絡を取って、Microsoft Project プロジェクト計画のすべてのタスクで、このフィールドにエントリがあることを確認する必要があります。

Microsoft Project プロジェクト計画のいずれかのタスクに、新規に作成した必須フィールドにエントリがない場合は、そのタスクをエクスポートまたは同期することができません。Project Tracker にエラー メッセージが表示され、タスクのエクスポートや同期が失敗します。

### プロジェクト計画のネストの回避

ClearQuest データベースにリンクされているプロジェクト計画には、ほかのプロジェクト計画をネストすることはできません。ネストした場合、[同期] 機能を実行すると、実行時エラーが発生して、予測できない動作を引き起こします。

リンクされているプロジェクトにほかのプロジェクトをネストするのではなく、リンクされているプロジェクトに新規タスクを入れる必要があります。

### タスク名を ClearQuest の [見出し] フィールドに転送するときの文字の切り捨て

ClearQuest の [見出し] フィールドに入力できる文字数は、125 文字までです。タスク名が 125 文字を超えるプロジェクト計画タスクをエクスポートした場合は、最初の 125 文字のみが ClearQuest レコードの [見出し] フィールドに転送されます (つまり、フィールドは 125 文字で切り捨てられます)。この状態の発生は、進行状況ログに表示されるメッセージで確認できます。

[エクスポート] 機能を使用した後に [同期] 機能を使用すると、プロジェクト計画の [タスク名] フィールドに 125 文字で切り捨てられたタスク名が残ることがあります。これは、次の理由からです。[エクスポート] 機能で、最初の 125 文字のみが ClearQuest レコードの [見出し] フィールドに転送されます。その後の同期処理で、125 文字のタスク名がプロジェクト計画の [タスク名] フィールドにコピーされ、長い名前が上書きされてしまいます。

## ClearQuest データベースからの所有者の削除

ClearQuest 管理者は、アクティブな Rational ClearQuest ユーザーのリスト (ClearQuest データベースの [所有者] フィールドの有効エントリであるユーザー名のリスト) から名前を削除することができます。

ただし、名前をアクティブな ClearQuest ユーザーのリストから削除しても、インポート、エクスポート、更新、同期の処理中に Project Tracker によって認識された ClearQuest ユーザーのリストからは削除されません。

このことは、Project Tracker でインポート、エクスポート、更新、同期のいずれかの処理中に、プロジェクト計画のリソース名と、認識された ClearQuest 所有者名が一致しなかったときに表面化します。Rational ClearQuest Project Tracker では、ここで、認識された ClearQuest ユーザーのリストが表示されます。

このリストから名前を選択して、プロジェクト計画レコードのリソース名を、認識された ClearQuest ユーザーと一致させることができます。ただし、表示されるリストには、過去にアクティブなユーザーのリストから削除された ClearQuest ユーザーの名前も含まれています。このような過去に削除されたユーザー名を選択すると、プロジェクトに携わっていない人の名前がプロジェクト計画タスクの [リソース名] フィールドに入力されてしまう可能性があります。

したがって、ClearQuest 管理者は、ClearQuest ユーザーをアクティブなユーザーのリストから削除する場合、すべてのプロジェクト マネージャーにその旨を通知することが重要です。通知することにより、プロジェクト マネージャーは、インポート、エクスポート、更新、同期の処理において、削除されたユーザーの名前を選択しないようにすることができます。

## ClearQuest レコードからの Actual End Date の削除

Rational ClearQuest ユーザーによって ClearQuest データベース レコードの [Actual End Date] フィールドが変更されて、そのフィールドが空白になってしまうことがあります。その後の更新処理または同期処理で、その空白は、プロジェクト計画のリンクされているレコードの [実績終了日] フィールドにコピーされません。ただし、[実績終了日] フィールドに入っていた日付はそのまま残ります。

これは、Microsoft Project の制限により、Project Tracker では既に値が入っている [実績終了日] フィールドに空白をコピーすることができないからです。

[Actual End Date] フィールドに空白があるかどうかは、自分か ClearQuest 管理者が ClearQuest レコードのクエリーを実行すると分かります。



# Project Tracker の 設定と構成

# A

この章では、Microsoft Project 2000 と ClearQuest の間で情報をやり取りできるように Rational ClearQuest Project Tracker を設定する方法を説明します。

## 前提条件

---

Project Tracker の設定を行うには、次のことが前提になります。

- ClearQuest がインストールされ、実行中である。
- Microsoft Project 2000 がインストールされ、プロジェクト マネージャーによって実行中である。

これらの前提条件は、プロジェクト チームが既に ClearQuest と Microsoft Project 2000 の効果的な使用方法を習得し、両方のアプリケーションが現在のプロジェクトで広く使用されていることを意味します。また、プロジェクトの ClearQuest レコードが既に存在し、作業タスクのあるプロジェクト計画が Microsoft Project に既に存在することを意味しています。

Project Tracker の設定と構成を行うには

- 1 プロジェクトの ClearQuest データベース スキーマを更新し、Microsoft Project 2000 とやり取りする新しい情報を保存します。
- 2 システムに Microsoft Project 2000 がインストールされていない場合は、Regsvr32 CQMSPInt.dll を実行します。

また、以下の手順を、ユーザーまたは各プロジェクト計画担当のプロジェクト マネージャーが実行する必要があります。これらの手順の詳細については、「第 2 章 プロジェクト計画と ClearQuest データベースのリンク」を参照してください。これらの手順を確実に正しく実行するには、プロジェクト マネージャーと共に作業します。

- 1 次のものを決定し、ClearQuest に関する情報に基づいて、Microsoft Project 2000 の各プロジェクト計画を構成します。
  - データをやり取りする ClearQuest データベース
  - ClearQuest 関連のデータを保存する Microsoft Project のフィールド
  - 使用可能にする ClearQuest レコード タイプ

- 2 Microsoft Project 2000 でビューを構成し、ClearQuest 関連のデータを表示できるようにします。

これらの手順が完了したら、Microsoft Project 2000 への ClearQuest レコードの最初のインポートと、ClearQuest への Microsoft Project 2000 タスクの最初のエクスポートを実行できます。

これらの手順については、以降の項を参照してください。

## プラットフォームの依存関係

Project Tracker は、Microsoft Project 2000 にアドインとして実装され、COM を使用して ClearQuest と通信します。このため、Project Tracker でサポートされるプラットフォームは、Microsoft Project 2000 によって決まります。つまり、Project Tracker は ClearQuest の展開方法に依存しません。

サポートされている ClearQuest データベースを使用するコンピュータであれば、NT コンピュータでも UNIX コンピュータでも ClearQuest サーバーを展開できます。必要なのは、Windows ClearQuest クライアントと Microsoft Project 2000 をクライアント コンピュータにインストールすることだけです。

## プロジェクトの ClearQuest データベーススキーマの更新

---

Project Tracker では、プロジェクトの ClearQuest データベースに使用する ClearQuest データベーススキーマに 2 つの ClearQuest パッケージを適用する必要があります。これらの ClearQuest パッケージは、次に示す順序でインストールする必要があります。

- 1 AMBaseActivity
- 2 AMWorkActivitySchedule

## ClearQuest パッケージとは

ClearQuest パッケージには、新規データベースフィールドの定義と関連情報が格納されています。これらの情報を ClearQuest レコードタイプの定義に適用すると、そのレコードタイプに新規フィールドが追加されます。Project Tracker に必要な ClearQuest パッケージには、[Planned Start Date] や [Actual Work] などのフィールドが定義されています。

ClearQuest パッケージの詳細については、『Rational ClearQuest 管理ガイド』と Rational ClearQuest Designer のヘルプを参照してください。

**メモ:** Microsoft Project 2000 と情報をやり取りするために使用するすべての ClearQuest レコードタイプに、AMBaseActivity パッケージと AMWorkActivitySchedule パッケージの両方のパッケージを適用する必要があります。

パッケージ	説明	追加/修正された レコードタイプ	フィールド
AMBaseActivity	Rational ClearQuest Project Tracker に追加サポートを提供します。	有効なレコードタイプに [メイン] タブを追加します。	有効なレコードタイプに追加されるフィールド <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Headline</li> <li>▶ Owner</li> <li>▶ Description</li> </ul>
AMWork ActivitySchedule	Rational ClearQuest Project Tracker を使用して、Rational ClearQuest と Microsoft Project 2000 を統合するために必要なスケジュール属性を提供します。 AMWorkActivitySchedule レコードタイプファミリーを使用して、Rational ClearQuest Project Tracker で作成され、更新されるレコードをクエリーできます。	有効なスキーマに AMSchedule レコードタイプファミリーを定義して追加します。このパッケージで有効化されるレコードタイプは、このレコードタイプファミリーに追加されます。 有効なレコードタイプに [スケジュール] タブを追加します。	有効な AMSchedule レコードタイプに追加されるフィールド <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ am_planned_start_date</li> <li>▶ am_planned_end_date</li> <li>▶ am_planned_work</li> <li>▶ am_planned_rem_work</li> <li>▶ am_planned_duration</li> <li>▶ am_planned_rem_duration</li> <li>▶ am_actual_start_date</li> <li>▶ am_actual_end_date</li> <li>▶ am_actual_work</li> </ul>

これらのパッケージを適用するには、ClearQuest Designer アプリケーションの ClearQuest パッケージ ウィザードを使用します。ClearQuest パッケージ ウィザードの詳細については、『Rational ClearQuest 管理ガイド』と Rational ClearQuest Designer のヘルプを参照してください。

## Regsvr32 CQMSPInt.dll の実行

システムに既に Microsoft Project 2000 がインストールされている場合は、ClearQuest によってインストール時に CQMSPInt.dll が自動的に登録されます。この .dll ファイルは、ClearQuest のインストール時にシステムにコピーされます。

Microsoft Project がインストールされていない場合は、次の手順に従って、CQMSPInt.dll を登録し、Project Tracker のインストールを終了する必要があります。

ファイルを登録するには

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
- 2 [ファイル名を指定して実行] ウィンドウで、「Regsvr32 CQMSPInt.dll」と入力し、[OK] をクリックします。



# RUP プロジェクト計画の 使用法

# B

Rational Unified Process (RUP) は、RUP がサポートする最善の実践方法に従ってタスクを編成する Microsoft Project 計画セットを提供します。

システムで RUP が使用可能な場合、これらのプロジェクト計画にアクセスするには、[Rational Unified Process] メニューの [テンプレート] をポイントし、[Microsoft Project] をクリックします。

ワークフロー詳細レベルでの概要テンプレートと、アクティビティ レベルでのより詳細なテンプレートという、計画の 2 つのレベルが各フェーズの各反復に提供されます。

RUP プロジェクト計画から始めて、詳細を調整または追加することで、Rational ClearQuest データベース レコードに変換できる特定のタスクや、各スタッフに割り当てる特定のタスクを含む、完全なプロジェクト計画を作成できます。たとえば、一般リソース名を特定のリソース名に置き換え、開始日と終了日を調整し、詳細な作業レベル タスクを追加し、適用しないタスクを削除します。



# 索引

## C

ccase-home-dir ディレクトリ xiii  
ClearQuest  
固有の ID 10  
フォーム 9, 25  
レコードの作成 9  
ClearQuest Project Tracker  
ClearQuest パッケージ 48  
Microsoft Project からのアクセス 15  
前提条件 47  
定義 1  
プラットフォームの依存関係 48  
ClearQuest レコードからの  
Actual End Date の削除 45  
ClearQuest レコードタイプリストの更新 14, 42  
ClearQuest レコードの必須フィールド 23  
ClearQuest 管理者による変更 44  
タスクにエントリがないときの入力 30  
cquest-home-dir ディレクトリ xiii  
CQ レコードタイプ 23

## R

Regsvr32 49  
Regsvr32 CQMSPInt.dll 49  
RUP プロジェクト計画の使用法  
説明 5

## い

インストール用のパッケージ 48  
インポートするレコードの選択 16  
インポートのためのクエリー 21

## か

カスタマ サポート xiv  
カスタム フィールドの割り当て 12

## き

規則、表記 xiii

## く

クエリー ウィザード 21

## こ

更新中または同期中の情報の競合を  
解決するルール 38  
更新中または同期中の情報の競合を解決するルール  
無効化 39  
更新と同期  
説明 4

## さ

サマリ タスク 29

## し

[実行] コマンド 21  
所有者、フィールド値の変更 29  
新規プロジェクト計画から始める 6

## す

[すべてのログ情報の表示] ボックス 26

## た

タスクとレコードの削除 43

タスクとレコードの同期

更新との相違点 31

処理の詳細 34

タスク名の切り捨て 44

タスクをエクスポートしてレコードを作成する

処理の詳細 23

説明 3

[同期] 機能との併用 42

タブの必須フィールド 25

## と

ドキュメント

ヘルプの説明 xiv

## は

バックアップ ファイル 22

## ひ

表記規則 xiii

## ふ

プロジェクト計画タスクの更新

[インポート] 機能との併用 41

同期との相違点 31

リンクされているタスクとレコードのみへの  
適用 41

プロジェクト計画とデータベースのリンク

ClearQuest データを保存するフィールドの  
選択 12

Microsoft Project 2000 のビューの構成 13

説明 3

データベースの選択 11

プロジェクト計画のネスト 44

プロジェクト計画のマスター コピー、保存 22

プロジェクト計画を既存の ClearQuest データベースと  
統合する 8

## へ

閉ループ型プロジェクト追跡システム 2

ヘルプ、アクセス xiv

## ま

マイルストーン 29

## り

リソースの割り当て

MS Project と ClearQuest の違い 29

リソース名的一致

インポート 18

エクスポート 26

更新 33

同期 36

リソース名の変更 18

リンクされているプロジェクト計画タスクの更新

処理の詳細 32

## れ

レコードをインポートしてタスクを作成する

処理の詳細 15

説明 3

[列の挿入] コマンド 13

## ろ

ログ ファイルの保存と表示 19

